

【参考資料】

- ・ あいち自動車環境戦略 2020 に関する取組の実施状況一覧
- ・ 愛知県の自動車環境対策に関する主な取組について
- ・ リーフレット「エコカーにしよう」
- ・ チラシ「従業員のための充電設備を設置しましょう」「電気で走るクルマのための充電設備を設置しましょう」
- ・ リーフレット「エコドライブでいこう！」
- ・ リーフレット「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制に関する要綱」
- ・ 土木工事標準仕様書抜粋（愛知県建設部）
- ・ チラシ「国道 23 号通行ルール（名古屋南部地域）」
- ・ 愛知県内の水素ステーションマップ
- ・ 大気環境改善に向けた検討（大気環境目標値部会）（名古屋市）
- ・ あいち自動車環境戦略 2020 に関する岡崎市の取組み
- ・ 環境省平成 29 年度概算要求資料
- ・ チラシ「クールチョイス」
- ・ クールチョイス宣言書
- ・ パンフレット「東邦ガス水素ステーションの取り組み」
- ・ チラシ「みなとアクルス水素ステーション」

あいち自動車環境戦略2020に関する取組の実施状況一覧

(平成28年11月現在)

目次

1	自動車単体対策の強化等	・・・	2
2	車種規制の実施及び流入車の排出基準の適合車への転換の促進	・・・	5
3	低公害車の普及促進	・・・	6
4	エコドライブの普及促進	・・・	13
5	交通需要の調整・低減	・・・	16
6	交通流対策の推進	・・・	30
7	自動車交通集中地域等の対策の推進	・・・	32
8	普及啓発活動の推進	・・・	32
9	道路環境改善対策	・・・	34

※あいち自動車環境戦略2020に掲げる施策ごとに分類しています。

1 自動車体対策の強化等

(1) ディーゼル車対策の促進

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組
			継続	新規	
1 最新規制適合車の普及	中部運輸局	平成23年10月1日以降に製作されるディーゼル特殊自動車について、排出ガス規制の強化及び排出ガス新試験モードの導入を出力に応じ順次開始	継続	平成28年10月1日以降に製作されるディーゼル重車について、排出ガス規制の強化及び排出ガス新試験モードの導入を車両総重量等に応じ順次開始	
	名古屋市長古屋市	○最新規制適合自動車代替促進事業 幼稚園・保育園・福祉施設等が車齢8年超えの送迎用自動車をもつた新長期規制適合車以上の環境性能を有する自動車へ代替する場面に補助を実施(3件)	継続	中小企業事業者、幼稚園・保育園・福祉施設等が車齢8年超えの送迎用自動車をポスト新長期規制適合車へ代替する場面に補助を実施	継続
	(一社)愛知県トラック協会	○ポスト新長期規制適合車導入に係る近代化基金融資 ○ポスト新長期規制適合車を購入する際の利子一部補助(492台)	継続		継続
	石油連盟	サルファーフリー自動車燃料(ガソリン・軽油)を供給し、燃費・排出ガス性能に優れた自動車の普及に必要な環境を整備しています。(石油業界は、国の規制に先立ち、平成17年1月よりサルファーフリー(10ppm以下)のガソリン、軽油の全国供給を開始しています)	継続		継続
	(一社)日本自動車工業会	ディーゼル重車については平成21年排出ガス規制に対応するため、電子制御による高圧多段燃料噴射やEGR(排気再循環システム)の精緻な制御による燃焼コントロールとDPF(ディーゼルパティキュレートフィルター)やNox還元触媒などの後処理技術をシステム化した排出ガス低減技術を市場に投入。平成28年から導入される次期規制(Nox規制値強化やオプサイクル対策)に取り組んでいる。	継続	ディーゼル重車については平成21年排出ガス規制に対応するため、電子制御による高圧多段燃料噴射やEGR(排気再循環システム)の精緻な制御による燃焼コントロールとDPF(ディーゼルパティキュレートフィルター)やNox還元触媒などの後処理技術をシステム化した排出ガス低減技術を市場に投入。平成28年から導入される次期規制(Nox規制値強化やオプサイクル対策)に取り組んでいる。	継続
	安城市	資源ごみ収集車両にハイブリッド、ディーゼル車を導入	継続	資源ごみ収集車両に最新規制適合車(ディーゼル車)を導入	継続
	中部地方整備局	【名国・愛国・名国】排出ガス対策型建設機械の使用 発注する工事においては、原則として排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(土木工事特記仕様書に記載)	継続		継続
	一宮市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載)発注後の機械確認については、報告書に排出ガス対策型建設機械のステッカーの写真を添付してもらっている。	継続		継続
	春日井市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載)	継続		継続
	西尾市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(愛知県建設部工事標準仕様書に準拠)建設機械の確認については、施工計画及び完了写真で行う。	継続		継続
2 低公害建設機械の使用促進	新城市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(設計書に記載)	継続		継続
	飛島村	排出ガス対策型建設機械の使用 村が発注する工事については、原則排出ガス対策型建設機械をしようすることとする。 (工事標準仕様書に記載)	継続		継続
	中日本高速道路株式会社	建設工事において排出ガス対策型建設機械の使用促進 新車名高速道路建設事業 名古屋第二環状自動車道建設事業	継続		継続
			継続		継続

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組
2 低公害建設機械の使用促進	名古屋高速道路公社	○排出ガス対策型建設機械指定制度の促進 排出ガス対策型建設機械指定制度(第3次基準)(H18年3月)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械の使用原則化	継続		継続
	愛知県道路公社	○排出ガス対策型建設機械の使用 ・当公社が発注する工事においては、原則、指定された排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(愛知県建設部土木工事標準仕様書に準じるよう、特記仕様書に記載) ・確認方法は、工事完了時に使用した排出ガス対策型建設機械の写真を提出することとし、確認している。	継続		継続
	刈谷市	○非化石ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(設計書に記載) 建設機械の確認については、施工計画及び建設機械の写真を添付して行う。	継続		継続
	蒲郡市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(特記仕様書に記載、施工計画書、立会時及び完了写真で確認)	継続		継続
	江南市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。『積算基準及び歩掛表 愛知県建設部監修』を準拠	継続		継続
	小牧市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載)	継続		継続
	稲沢市	●低公害建設機械の使用促進 排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載)	継続		継続
	知多市	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載) ●低公害建設機械の使用促進 排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載)	継続		継続
	高浜市	低公害建設機械の使用促進 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載)	継続		継続
	北名古屋	○排出ガス対策型建設機械の使用 市が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械の使用を求めている。(工事標準仕様書に記載) ○低騒音型・低振動型建設機械 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」に基づき、市が発注する土木・建築工事の設計図書等で使用を義務づけ、使用を求めた。(土木工事標準仕様書・建築工事特記仕様書に記載)	継続		継続
	扶桑町	排出ガス対策型建設機械の使用 町が発注する工事において、排出ガス対策型の建設機械を使用(工事標準仕様書に記載)	継続		継続
	幸田町	○排出ガス対策型建設機械の使用 町が発注する工事においては、原則、排出ガス対策型建設機械を使用することとした。(工事標準仕様書に記載)	継続		継続
	愛知県	○排出ガス対策型建設機械 「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」等に基づき、愛知県建設部が発注する土木工事に対して、排出ガス対策型建設機械の使用を義務づけている。(土木工事標準仕様書に記載) また、愛知県建設部が発注する建築工事に対して、基本的には排出ガス対策型建設機械の使用を求めている。(建築工事特記仕様書) ○低騒音型・低振動型建設機械 「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」に基づき、愛知県農林水産部及び建設部が発注する工事の設計図書で使用を義務づけた場合には、低騒音型・低振動型建設機械を使用することとしている。(工事標準仕様書に記載)	継続		継続

(2) 啓発活動の実施

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組	
1 ディーゼル黒煙街頭検査・クリーニングキャンペーンの実施	中部運輸局	名古屋南周辺において、ディーゼル車を対象とした街頭検査を実施し、規制値を超える黒煙を排出する等の整備不良車に対し、必要な整備を命じるとともに、点検整備の励行などの啓発活動。(愛知県内黒煙検査:3回、13台検査)	継続			
		運輸支局に不正改造車・黒煙相殺器(不正改造車・黒煙110番)を設置し、通報を受けたユーザーにハガキを送付し、自主点検等を指導。(不正改造車通報件数94件、ハガキ送付枚数64枚)	継続			
	(公社)愛知県バス協会	○ディーゼル黒煙街頭検査 6月及び10月を重点期間として、使用期限ディーゼル車に対するディーゼルクリーニング・キャンペーンを実施し、ディーゼル車から排出される黒煙の低減を図る。	継続			
	愛知県	国道23号・大府市北隣町においてエコドライブの普及啓発活動を中部地方整備局・中部運輸局・警察本部の取組み等と合同で5回実施(うち2回は天候不良により中止)。	継続	5回実施(10月末まで、うち2回は雨天中止)		
	中部地方整備局	【名国・愛国・名四】車両点検整備の励行 事務所の所管する車両においては点検整備を励行している。	継続			
	中部運輸局	9月及び10月に定期点検整備推進運動を実施し、ボスター及びびぢランによる広報活動と街頭検査時における定期点検の励行を指導。	継続			
	一宮市	車両点検整備の励行	継続			
	春日井市	運行前後に車両点検を実施している。	継続			
	東海市	車両点検整備の励行	継続			
	(公社)愛知県バス協会	○車両点検整備の励行 9月～11月の3か月間、乗合バスを活用した広報活動の実施。	継続			
	(一社)日本ガス協会(東邦ガス株)	車両点検整備を3カ月毎に実施	継続			
	(一社)日本自動車工業会	車両の定期点検に関する啓発ポスターを作成し、ウェブサイトに掲載。	継続	車両の定期点検に関する啓発ポスターを作成し、ウェブサイトに掲載。	継続	
	2 車両点検整備の励行	中部電力㈱	車両運行前点検の実施	継続	車両運行前点検の実施	継続
幸田町		○公用車点検の実施 町が管理する公用車については、月一回の業者点検と職員による車両運行前点検を実施。	継続			
愛知県		○車両点検整備の励行 車で管理している貸出車両(バン)については、運行前後に車両点検を行い、財産管理課自動車運転手が運行する公用車については、各担当者が定期的に点検を行っている。	継続			
中部運輸局		ディーゼル車に対し、街頭検査で廃油抜き取り検査を実施し、不正廃油の使用防止を図る。(不正廃油検査3回、13台検査)	継続			
愛知県		愛知県不正廃油撲滅対策会議を設置し、廃油抜き取り調査を実施し、不正廃油撲滅のための広報活動を行う。	継続			
3 不正廃油の使用防止		中部運輸局		継続		
				継続		
		愛知県		継続		
				継続		
				継続		
				継続		
				継続		
				継続		
			継続			
			継続			
			継続			
			継続			

2 車種規制の実施及び流入車の排出基準の適合車への転換の促進

(1) 規制の実施、強化等

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組		平成28年度実施した取組（予定も含む）		平成29年度以降に実施予定の取組		
1 自動車Nox・PM法に基づく施策の実施	一宮市						はしご自動車（本署・尾西署）を平成30・31年度にNOx・PM法適合車両に更新予定。	
	愛知県	環境省の委託により、総量削減計画進行管理調査を実施						
3 車種規制非適合車の使用抑制の推進	中部地方整備局	【名国】 特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において、指導取締りを3回実施（8月、10月、1月）した。		【名国】 特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町において指導取締りを1回実施し、あと2回実施予定。国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを1回実施しあと3回実施予定			【名国】 特殊車両指導取締り 国道23号（下り）大府市北崎町及びひ国道23号（上り）弥富市三好町で指導取締りを実施予定	
	名古屋市長	○車種規制非適合車の使用抑制等に関する取り組み ①非適合貨物自動車等の使用者の把握 非適合貨物自動車等の乗車を把握するために、国道23号を通行する車のオンパレードプレートの調査を実施。 ②普及啓発 市内の荷主等及び非適合貨物自動車等の使用者に対し、使用抑制のパンフレットを送付						
	岡崎市	○車種規制非適合車の使用抑制の推進 貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱に基づき、非適合車の使用抑制を推進する。						
	春日井市	Nox・PM法該当車両の更新・廃車 1台（水槽車）廃車						消防車新車両の軽量化 シャーシの改良等により車両の重量が増え、従前と同程度の装備を備えると総重量が20tを超えてしまう車両があるが、積載物や材質等を考慮し、軽量化を図り、総重量20t以下としている。
	愛知県	○貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制 「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」に基づき、愛知県農林水産部及び建設部が発注する工事において、「自動車Nox・PM法」の対象地域外からの流入車も含め、車種規制非適合車の使用抑制に努める。（工事・特記仕様書に記載）						

3 低公害車の普及促進

(1) 次世代自動車等先進エコカーの導入促進

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組		平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組	
		継続	新規	継続	新規	継続	新規
1 次世代自動車等先進エコカー導入に対する 助成・優遇措置	中部経済産業局	○クリーンエネルギー自動車等導入促進対策補助金 省エネ・CO2排出削減に高い効果を持ち、世界的な市場の拡大が期待される電気自動車等の次世代自動車について、世界に先駆けて普及を促進し国内市場の確立を図るため、車両の購入に対する補助の実施。(平成26年度補正予算にて実施。)	○クリーンエネルギー自動車等導入促進対策補助金 省エネ・CO2排出削減に高い効果を持ち、世界的な市場の拡大が期待される電気自動車等の次世代自動車について、世界に先駆けて普及を促進し国内市場の確立を図るため、車両の購入に対する補助の実施。(平成28年度予算概算要求額：150億円)	継続	継続	継続	継続
		低公害車普及促進対策補助金の、自動車運送事業用車両の環境対応車導入に係る補助制度によりCNGバス・トラック・ハイブリッドバス・トラックの導入促進を図る。(愛知県内補助件数：79台)	継続	継続	継続	継続	
	中部運輸局	中小型モビリティの普及や、地方自治体、観光・流通関係事業者、デイベロップメント等の主導による先行導入や試行導入に対し支援。	継続	継続	継続	継続	継続
		電気自動車の普及促進を図るため、地域や事業者による電気自動車の集中的導入を誘発・促進するよう、な地域・事業者間連携等による先駆的な取組を行う自動車運送事業者等に対してバス、トラック及びびトランクの電気自動車の導入を重点的に支援するため、「電気自動車による地域交通グリーン化事業」を公募。(低公害車普及促進対策補助金)	継続	継続	継続	継続	継続
	豊橋市	物流の低炭素化促進事業の公募、周知	継続	継続	継続	継続	継続
		○電気自動車等購入補助金 電気自動車、プラグインハイブリッド、燃料電池自動車の購入等への補助 (EV17台、PHV38台、FCV1台)	継続	継続	継続	継続	継続
	岡崎市	○電動バイク購入補助金 電動バイク購入等への補助(3台)	継続	継続	継続	継続	継続
		○事業用の低公害車(3.5トンバンを除く)を購入する中小企業者に融資をあっせんし、融資利子相当額を補助している。(予算額1,000千円)	継続	継続	継続	継続	継続
	豊田市	○次世代自動車(FCV、EV、PHV)補助金の実施(予算額13,500千円)(補助実績 FCV:6件、EV・PHV:236件)	継続	継続	継続	継続	継続
		○次世代自動車普及促進費補助金 次世代自動車の購入に対して補助金を交付 個人向け：88件 事業者向け：21件	継続	継続	継続	継続	継続
	西尾市	○低公害車普及促進事業補助金 低公害車を導入する個人及び法人に対して補助金を交付。(36台)	継続	継続	継続	継続	継続
○電気自動車購入等補助金 EV・PHVを購入する市民への補助 (実績：EV 2件、PHV 5件)		継続	継続	継続	継続	継続	
(一社)愛知県トラック協会	○低公害車導入助成 CNGトラック、ハイブリッドトラックを導入する事業者に対して補助金を交付(天然ガス20台、ハイブリッド37台)	継続	継続	継続	継続	継続	
	○ハイブリッドバス、CNGバスに対する助成措置。	継続	継続	継続	継続	継続	

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)	平成29年度以降に実施予定の取組
1 次世代自動車等先進エコカー導入に対する 助成・優遇措置	刈谷市	<p>○低公害車購入費補助制度 低公害車を新規購入され、一定の条件を満たす市民、市内事業者へ補助金の交付を実施 ●電気自動車、プラグインハイブリッド自動車 個人：1台につき車両本体価格(税抜)の10%(上限30万円) 事業者：1台につき15万円 ●ハイブリッド自動車、天然ガス自動車 1台につき5万円 ●燃料電池自動車 個人：車両本体価格と一般社団法人次世代自動車振興センターが定める該当車両の基準額との差額に2/3を乗じて得た額を、車両本体価格から差し引いた額の10%(上限50万円) 事業者：車両本体価格と一般社団法人次世代自動車振興センターが定める該当車両の基準額との差額に11/12を乗じて得た額を、車両本体価格から差し引いた額の10%(上限40万円) 【補助実績】 燃料電池自動車 : 6台 電気自動車 : 6台 プラグインハイブリッド自動車 : 39台 ハイブリッド自動車 : 1,260台 合計 : 1,311台</p> <p>○超小型電気自動車購入費補助制度 超小型電気自動車を新規購入され、一定の条件を満たす市民、市内事業者へ補助金の交付を実施 車両本体価格の10%(上限7万円) 【補助実績】 0台</p> <p>○次世代自動車購入費補助制度 FCV・EV・PHVの購入に対して補助金を交付する(6.4件)</p> <p>●次世代自動車等先進エコカー導入に対する助成・優遇措置 FCV購入に対する補助金(1台2.5万円、予算4台、実績0台)</p>	<p>継続</p>	<p>継続</p>
		<p>○電気自動車等購入補助金 個人及び事業者が購入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入補助 補助額は、車両本体価格に100分の5を乗じて得た額とし、10万円を上限 事業者、車両本体価格に100分の5を乗じて得た額とし、10万円を上限 補助実績：11件</p> <p>○低公害車導入促進費補助金 低公害車を導入する個人に対して補助金を交付。 より環境負荷の少ない自動車(FCVやPHV、EV)への補助上限額の増額等の見直しを実施。 FCV: 上限35万、EV、PHV: 上限15万、HV: 上限5万(約400台)</p> <p>○低公害車導入促進費補助金 次世代自動車(FCV・EV・PHV)を導入する町内個人・事業者に対して補助金を交付 FCV1台(事業者)・EV1台(個人)・PHV12台(個人)</p>	<p>継続</p>	<p>継続</p>
		<p>○エコネカリー促進費補助金(低公害車) 低公害車を導入する個人に対して補助金を交付。 FCV: 上限35万、EV、PHV: 上限15万、HV: 上限5万(約400台)</p>	<p>継続</p>	<p>継続</p>
		<p>平成24年1月以降に新車新規登録を受けたEV・PHVに対する自動車税の課税免除。</p> <p>低公害車を導入する事業者に対して補助金を交付。 対象車種：CNGトラック・CNGバス、ハイブリッドトラック・ハイブリッドバス、電気自動車トラック、電気自動車兼用車(PHVを含む) FCV 【実績】 120台</p>	<p>継続</p>	<p>平成28年度未だに新車新規登録を受けたEV・PHV・FCVが対象</p>
		<p>○電気自動車等購入補助金 個人及び事業者が購入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入補助 補助額は、車両本体価格に100分の5を乗じて得た額とし、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車については5万円、燃料電池自動車については20万円を限度</p>	<p>継続</p>	<p>FCV購入に対する補助金(1台2.5万円、予算4台) FCV購入に対する補助金(1台2.5万円、予算4台)</p>
		<p>○電気自動車等購入補助金 個人及び事業者が購入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入補助 補助額は、車両本体価格に100分の5を乗じて得た額とし、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車については5万円、燃料電池自動車については20万円を限度</p>	<p>継続</p>	<p>FCV購入に対する補助金(1台2.5万円、予算4台)</p>
		<p>○電気自動車等購入補助金 個人及び事業者が購入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入補助 補助額は、車両本体価格に100分の5を乗じて得た額とし、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車については5万円、燃料電池自動車については20万円を限度</p>	<p>継続</p>	<p>FCV購入に対する補助金(1台2.5万円、予算4台)</p>
		<p>○電気自動車等購入補助金 個人及び事業者が購入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入補助 補助額は、車両本体価格に100分の5を乗じて得た額とし、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車については5万円、燃料電池自動車については20万円を限度</p>	<p>継続</p>	<p>FCV購入に対する補助金(1台2.5万円、予算4台)</p>
		<p>○電気自動車等購入補助金 個人及び事業者が購入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入補助 補助額は、車両本体価格に100分の5を乗じて得た額とし、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車については5万円、燃料電池自動車については20万円を限度</p>	<p>継続</p>	<p>FCV購入に対する補助金(1台2.5万円、予算4台)</p>
		<p>○電気自動車等購入補助金 個人及び事業者が購入する電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入補助 補助額は、車両本体価格に100分の5を乗じて得た額とし、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車については5万円、燃料電池自動車については20万円を限度</p>	<p>継続</p>	<p>FCV購入に対する補助金(1台2.5万円、予算4台)</p>

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組		平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組		
		継続	終了	継続	終了	継続	更新計画未定	
3 公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入	東海農政局	公用車への低公害・低燃費車の率先導入を継続的に実施(ハイブリッド車1台、アイドリングストップ装置装着車1台を既に導入済み)	継続	公用車への低公害・低燃費車の率先導入を継続的に実施(ハイブリッド車1台、アイドリングストップ装置装着車1台を既に導入済み)	継続	更新計画未定		
	中部運輸局	公用車へFCVの導入(1台)(平成27年7月)	終了					
	中部地方環境事務所	・公用車への低公害・低燃費車の率先導入を継続的に実施(ハイブリッド車2台、低排出ガスかつ低燃費車2台(うち1台はアイドリングストップ装置装着)を既に導入済み) ○公用車への次世代自動車の導入 PHV2台導入	継続	・公用車への低公害・低燃費車の率先導入を継続的に実施(ハイブリッド車2台、低排出ガスかつ低燃費車2台(うち1台はアイドリングストップ装置装着)を既に導入済み)	継続			
	名古屋市	○市バスへの低公害車の導入 ・ポスト新長期規制適合バス10両導入(低公害バス累計677両(66.9%)、うちCNGバス50両、ハイブリッド1両)	継続	○市バスへの低公害車の導入 ・ポスト新長期規制適合バス10両導入(低公害バス累計677両(66.9%)、うちCNGバス50両、ハイブリッド1両)	継続	・ポスト新長期規制適合バス35両導入(低公害バス累計691両(68.3%)、うちCNGバス30両(平成28年度)	規制適合バス60両導入(低公害バス累計721両(71.2%)(平成28年度)	
	豊橋市	公用車にクリーンエネルギー自動車を導入(EV4台導入)	継続	公用車にクリーンエネルギー自動車を導入(EV4台導入)	継続	公用車にクリーンエネルギー自動車を導入(2020年までに3台/年ずつ導入予定)	公用車にクリーンエネルギー自動車を導入(2020年までに3台/年ずつ導入予定)	
	岡崎市	○公用車にPHV1台導入 ○公用車にFCV1台導入	継続	○公用車にPHV1台導入 ○公用車にFCV1台導入	継続	○公用車にEV1台導入	公用車に次世代自動車等先進エコカーを導入	
	半田市	公用車に次世代自動車等先進エコカーを導入(EV1台、HV2台)	継続	公用車に次世代自動車等先進エコカーを導入(EV1台、HV2台)	継続	公用車に次世代自動車等先進エコカーを導入(FCV1台等)	公用車に次世代自動車等先進エコカーを導入	
	春日井市	グリーン調達計画に基づき、次世代自動車等導入(平成27年度購入台数の内64%が次世代自動車等(電気自動車1台、ハイブリッド車1台他))	継続	グリーン調達計画に基づき、次世代自動車等導入(平成27年度購入台数の内64%が次世代自動車等(電気自動車1台、ハイブリッド車1台他))	継続			
	津島市	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 巡回バスの運行を、クリーンディーゼルの小型バス2台で行った。	継続	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 巡回バスの運行を、クリーンディーゼルの小型バス2台で行った。	継続			
	碧南市	公用車にHV車を6台導入。	継続	公用車にHV車を6台導入。	継続	公用車にHV車を1台以上導入予定。	台数未定。	
	豊田市	公用車の率先導入 燃料電池自動車 0台(累計2台) 予定 プラグインハイブリッド自動車 0台(累計34台) ハイブリッド自動車 6台(累計68台) 天然ガス自動車 0台(累計5台) 電気自動車 0台(累計2台) ☆☆☆☆&平成27年度燃費基準達成車 5台(累計20台) ☆☆☆☆ 2台(累計24台)	継続	公用車の率先導入 燃料電池自動車 0台 プラグインハイブリッド自動車 0台 ハイブリッド自動車 6台 天然ガス自動車 0台 電気自動車 0台 ☆☆☆☆&平成27年度燃費基準達成車 0台 ☆☆☆☆ 0台	継続	公用車の率先導入 燃料電池自動車 0台 プラグインハイブリッド自動車 18台 ハイブリッド自動車 2台 天然ガス自動車 0台 電気自動車 0台 ☆☆☆☆&平成27年度燃費基準達成車 0台 ☆☆☆☆ 0台	継続	公用車として導入する車両は、次世代自動車を中心に、自動車の種類・用途に応じ可能な限り低燃費、低排出ガスのものを導入していく。
	西尾市	公用車に次世代自動車等エコカーを導入。(HV4台、EV1台)	継続	公用車に次世代自動車等エコカーを導入。(HV4台、EV1台)	継続	公用車に次世代自動車等エコカーを導入。(HV4台)		
	新城市	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 公用車の買い替えを行う際は導入していく	継続	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 公用車の買い替えを行う際は導入していく	継続	新規購入、更新する公用車が無いため、予定なし	公用車の買い替えを行う際は導入していく	
	日進市	公用車へエコカー導入	継続	公用車へエコカー導入	継続	公用車へのエコカー導入(円長車のFCV車導入)	公用車へのエコカー導入	
	豊山町	公用車への低公害・低燃費車の導入 実績2台	継続	公用車への低公害・低燃費車の導入 実績2台	継続	公用車への低公害・低燃費車の導入 実績5台		
名古屋高速道路公社	○低公害・低燃費車の率先導入による普及啓蒙 ・ハイブリッド車:3台 ・低排出ガス車(新☆☆☆☆、新☆☆☆☆):22台 ・ポスト新長期:16台 ・新長期:14台	継続	○低公害・低燃費車の率先導入による普及啓蒙 ・ハイブリッド車:3台 ・低排出ガス車(新☆☆☆☆、新☆☆☆☆):22台 ・ポスト新長期:16台 ・新長期:14台	継続				
刈谷市	○公用車に9台エコカーを導入 【導入実績】 購入車 6台 (低排出ガス車 5台、低燃費車 1台) リース契約車 2台(低排出ガス車) 寄附車 1台(低排出ガス車)	継続	○公用車に9台エコカーを導入 【導入実績】 購入車 6台 (低排出ガス車 5台、低燃費車 1台) リース契約車 2台(低排出ガス車) 寄附車 1台(低排出ガス車)	継続				
安城市	○超小型電気自動車の導入(1台)	終了		終了				
蒲郡市	公用車に低公害車(低排出ガスや低燃費の基準を満たすもの)を導入(4台)	継続	公用車に低公害車(低排出ガスや低燃費の基準を満たすもの)を導入(4台)	継続	公用車に低公害車(低排出ガスや低燃費の基準を満たすもの)を導入(10台)	公用車に低公害車(低排出ガスや低燃費の基準を満たすもの)を導入予定		
犬山市	公用車へエコカー導入	継続	公用車へエコカー導入	継続				

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組
			継続	終了	
3 公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入	知多市	○公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 公用車としてFCV(燃料電池自動車)1台の導入を実施	継続	FCV(燃料電池自動車)1台を導入	終了
	稲沢市	●公用車への次世代自動車等先進エコカーの率先導入 FCV:1台購入	終了		
	知立市		新規	公用車へのPHV購入予定(1台)	終了
	尾張旭市	公用車の買い替える際に、次世代自動車等先進エコカーの導入に努める	継続	公用車への超小型電気自動車購入(3台)	終了
	高浜市	公用車に低排出ガス車を導入(リース車) EV・PHVの実績なし	継続		継続
	岩倉市	公用車に電気自動車(2台)を導入	新規	公用車に電気自動車を導入予定	新規
	田原市	○公用車に次世代自動車等先進エコカーを導入	継続		継続
	みよし市	○公用車に低公害車等を計画的に導入 (FCV1台、HV車2台)	継続		継続
	あま市	公用車に電気自動車の導入	継続	ハイブリット車1台購入予定	継続
	大口町	公用車に低公害車を計画導入	継続	該当なし	継続
	扶桑町	特になし	継続	一般公用車について原則エコカーを導入	継続
	大治町		継続	公用車に次世代自動車等先進エコカーを導入	継続
	東浦町	ハイブリット車(エスティマ)1台購入	継続	公用車2台更新予定	継続
	美浜町	公用車更新に伴い低公害・低燃費車を導入(3台)	継続	公用車に低公害・低燃費車を導入(1台)	継続
	東栄町	公用車への次世代自動車等先進エコカーを導入	継続	予定なし	継続
	愛知県	県公用車への次世代自動車等先進エコカー導入(低排出かつ低燃費車、HV、PHV(リース)、FCV(リース)) 【実績】PHV2台、HV1台、低排出かつ低燃費車10台	継続		継続
	4 従来車の次世代自動車等先進エコカーへの転換促進	中部地方環境事務所		新規	・中小トラック運送業者向け環境対応型ディーゼルトラック補助事業(国土交通省連携事業) 投資余力の少ない中小トラック運送業者を対象に、燃費性能の高い環境対応型ディーゼルトラックへの買い替えを促進することを目的とする 補助対象者：トラック運送業者(中小事業者に限る) 対象事業：中小トラック運送業者が保有する平成16年度以前に新規登録した事業用トラックから環境対応型ディーゼルトラックへの買い替え 補助額：大型車100万円、中型車70万円、小型車40万円
			新規	・先進環境対応トラック・バス導入加速事業(国土交通省・経済産業省連携事業) トラック・バスの各クラスにおいて最も燃費性能のよい先進環境対応車の普及初期の導入加速を支援する 補助対象者：トラック・バス所有事業者 対象事業：先進環境対応トラック・バス(営業用大型トラック、自家用トラックバス)を導入する事業 補助割合：同等クラスの標準的燃費水準のディーゼル車との差額の一定率、ハイブリット車・天然ガス車：1/2を上限に補助、燃料電池車・電気自動車：2/3を上限に補助	継続
名古屋市長		○グリーン配送の実施 平成18年度より、物品を納入する事業者に低公害・低燃費車などの使用を求める「グリーン配送」を実施	継続		継続
西海市		○第4回回廊版エコポイント抽選(予算額1,135千円)(応募者数：906名)	継続	○第5回回廊版エコポイント抽選(予算額1,111千円)	継続
春日井市		次世代自動車の導入、自動車利用の抑制およびエコドライブの推進など環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に行っている事業所などを「かすかすいいエコファイブ」と認定し、その取り組みを促進	継続		継続
稲沢市		●従来車の次世代自動車等先進エコカーへの転換促進 ガソリン車→先進エコカー買い替え(7台)	継続	ガソリン車→先進エコカー買い替え(1台予定)	継続
大府市		従来の公用車の次世代自動車等先進エコカーに更新	継続	平成28年5月に水素を燃料とする燃料電池車「MIRAI」を納車	継続
			継続	○第6回回廊版エコポイント抽選	継続
			継続		継続
			継続	ガソリン車→先進エコカー買い替え(2台予定)	継続

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組		平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組	
		継続	新規	継続	新規	継続	新規
6 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の普及促進	名古屋市	○超小型モビリティ認定制度事業者(2社)による超小型電気自動車の導入促進(計5台導入)	継続	○超小型モビリティ認定制度の活用事業者(2社)による超小型電気自動車の導入促進(計5台 実証実験継続中)	継続	○超小型モビリティ認定制度の活用	継続
	岡崎市	○電気自動車用急速充電設備開放事業 市役所、道の駅等に電気自動車充電器を整備し、一般開放している。	新規	○電気自動車用急速充電設備開放事業 市役所、道の駅等に電気自動車充電器を整備し、一般開放している。	継続	○電気自動車用急速充電設備開放事業 市役所、道の駅等に電気自動車充電器を整備し、一般開放している。	継続
	春日井市	消費生活展(6月26,27日)、春日井まつり(10月17,18日)、エコメッセフェスタ(11月15日)の会場およびエコメッセ春日井において土日、電気自動車を展示	継続	緑と花のフェスタイバル(4月29日から5月5日)、消費生活展(6月10,11日)、エコメッセフェスタ(11月15,16日)開催予定の会場およびエコメッセ春日井において土日に、電気自動車を展示	継続	電気自動車充電設備を設置した市民への補助金	電気自動車充電設備を設置した市民への補助金
	日進市	電気自動車充電設備を設置した市民への補助金1件	継続	電気自動車充電設備を設置した市民への補助金	継続	電気自動車充電設備を設置した市民への補助金	電気自動車充電設備を設置した市民への補助金
	中野電力㈱	プラグインハイブリッド車の導入(10台)	継続	なし	継続	プラグインハイブリッド車の導入(数量未定)	プラグインハイブリッド車の導入(数量未定)
大府市	○電気自動車等充電設備開放事業 電気自動車等充電設備を設置し一般開放している。公共施設(おおぶろ文化交流の社)1カ所に新たにEV充電スタンドを設置。8月1日稼働開始。	継続	○電気自動車等充電設備開放事業 電気自動車等充電設備を設置し一般開放している。公共施設(おおぶろ文化交流の社)1カ所に新たにEV充電スタンドを設置。8月1日稼働開始。	継続			
	愛知県	・あいち次世代自動車インフラ整備推進協議会の開催(1回) EV・PHVタウン事業の推進(ネットワーク運営、マスタープラン改訂、普及啓発チラシ作成等) 「従業員向け充電設備整備促進ガイドライン」及び「EV・PHV用充電設備整備促進ガイドライン」を作成(平成28年3月)	継続				

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組		平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組	
		継続	新規	継続	新規	継続	新規
1 充電インフラ設備の整備促進	豊橋市	○次世代自動車充電設備購入補助金 普通充電器、急速充電器購入者への補助 不特定多数の者に利用させるもの	継続	不特定多数の者から多数の者に利用させるものでも可とする(アハートや会社等の充電設備でも可)	継続		
	半田市	○住宅用充電設備導入補助金 次世代自動車への住宅用の充電設備への補助(17件)	継続	充電設備には補助額を加算	継続		
	碧南市	公共施設での充電設備の運用(普通充電器19基、急速充電器5基)	継続	ICカード認証システムの導入	継続		
	豊田市	アイプラザ半田へ充電インフラ整備 (普通充電器1台)	終了				
	豊田市	市役所駐車場に電気自動車用充電器を整備。 (1基)	継続	充電設備の利用促進	継続	充電施設の利用促進	充電施設の利用促進
中日本高速道路㈱中部支社	電気自動車用急速充電システムの運用 新東名高速道路 岡崎SA(上/下線) 中央自動車道 内津峠PA(上/下線) 東海環状道 岐が池PA(上下)	新規	電気自動車用急速充電設備における充電待機用駐車スペースの整備。 東名高速道路 上郷SA(上/下線各1マス) ※年度内に整備予定。	新規			
	なし	なし	なし	なし			
中部電力㈱	○電気自動車普通充電設備設置補助金 電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車用普通充電設備の導入補助 補助金の額は補助事業に要する経費の2分の1以内とし、15万円を限度補助実績：0件	終了		終了			

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組
			終了	継続	
1 充電インフラ設備の整備促進	安城市	○電気自動車用充電器を整備(北部公民館、南部公民館、堀内公園)	終了	新規 市役所駐車場に電気自動車充電器を整備予定(1基)	終了
	知立市	○電気自動車等充電設備設置補助(電気自動車等充電設備設置に係る経費の一部を補助(試行)(実績:0件))	新規	○電気自動車等充電設備設置補助(電気自動車等充電設備設置に係る経費の一部を補助(実績見込み:0件))	継続
	尾張旭市	・あいち次世代自動車インフラ整備推進協議会の開催(1回)	継続		継続
	愛知県	平成26年11月4日に運用開始した愛知県庁本庁舎正面玄関横に普通充電器(1器)の運用	継続		継続
		港明エコ・ステーションの移転に伴う能力増強を計画	継続	港明エコ・ステーションを移転・能力増強、天然ガス、水素、LPGを併せて供給する「みなとアウルスエコ・ステーション」(港区)としてH28年5月オープン。「低炭素価値向上に向けた二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金」を活用	終了
2 天然ガススタンドの整備促進	(一社)日本ガス協会(東邦ガス株)	○水素供給設備整備事業費補助金(平成26年度補正予算:95.9億円) 四大都市圏を中心に民間事業者等の水素ステーション整備費用の一部を補助。 (二次公募:愛知県内1件採択) 水素供給設備を活用したFCVの新たな需要創出等に必要な活動費用の一部を補助	継続	○水素供給設備整備事業費補助金(平成28年度予算:62.0億円) 四大都市圏を中心に民間事業者等の水素ステーション整備費用の一部を補助。 水素供給設備を活用したFCVの新たな需要創出等に必要な活動費用の一部を補助	継続
	中部経済産業局	FCVの初期需要創出とこれを可能とする水素供給インフラの普及に向け、FCVに対する理解を促進するとともに、水素ステーションの整備推進の支援を実施。 とよたエコフルガムンにおいて水素ステーションと燃料電池自動車の仕組みや導入の効果等をPR	継続	FCVの初期需要創出とこれを可能とする水素供給インフラの普及に向け、FCVに対する理解を促進するとともに、水素ステーションの整備推進の支援を実施。 とよたエコフルガムンにおいて水素ステーションと燃料電池自動車の仕組みや導入の効果等をPR	継続
3 水素供給施設の整備促進	豊田市	石油会社、燃料電池自動車の普及に不可欠な、水素ステーションを建設・運営しています。 県内では、JXエネルギーが、27年度時点で5カ所の水素ステーションを運営しています。	継続	石油会社、燃料電池自動車の普及に不可欠な、水素ステーションを建設・運営しています。 県内では、JXエネルギーが、27年度時点で5カ所の水素ステーションを運営しています。	継続
		HSUTが実施するNEDO事業(水素ステーション関連の技術研究)に参画 ※NEDO:新エネルギー・産業技術総合開発機構 HSUT:水素供給・利用技術研究組合	継続		継続
	(一社)日本ガス協会(東邦ガス株)	愛知県内の商用水素ステーションの整備(日進市1ヶ所の開所(済)、豊田市の実証水素ステーション1ヶ所の商用転用・開所(済)、名古屋市の実証水素ステーション2ヶ所の建設・開所(予定)) また、水素ステーション向け水素出荷設備の整備(東海市1ヶ所の建設・開所(予定))	継続	愛知県内の商用水素ステーションの整備。 既に開所済みの2箇所(日進市、豊田市)に加え、新たに名古屋市の2箇所(みなとアウルスエコ・ステーション)・豊橋市(移動式)の2箇所を開所 また、水素ステーション向け水素出荷設備を開所(東海市1箇所)	継続
	(一社)日本自動車工業会(トヨタ自動車株)	燃料電池車の販売 自動車メーカー3社 スタンドの運営支援	継続	・燃料電池車の販売 ・燃料電池車の生産能力増強 ・自動車メーカー3社(トヨタ、日産、ホンダ)は、共同で、水素供給スタンドの運営支援	継続
	安城市	○燃料電池自動車用水素供給設備整備費補助金制度 燃料電池自動車の必要創出をする者に補助金を交付する(0件)	継続		継続
安城市	○燃料電池自動車用水素供給設備必要創出活動費補助金制度 燃料電池自動車の必要創出をする者に補助金を交付する(0件)	継続		継続	
愛知県	・あいち次世代自動車インフラ整備推進協議会の開催(1回) ・あいちFCV普及促進協議会の開催(2回) ・「愛知県水素ステーション整備・配置計画」の推進 ・民間事業者による愛知県庁移動式水素ステーションの運用(運用日数46日) ・水素ステーション整備費補助金の創設(4件) ・水素ステーション必要創出活動費補助金の創設(9件)	継続	・【追加】燃料電池産業車両導入費補助金の創設(5件予定) ・【追加】再生可能エネルギー由来水素供給設備を補助メニューに追加(2件予定)	継続	

(3) 次世代自動車等先進エコカーの研究・開発

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組		平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組		
		天然ガス自動車の開発促進	継続	継続	継続	継続	継続	
1 次世代自動車等先進エコカーの研究・開発の促進	(一社) 日本ガス協会 (東邦ガス株)	天然ガス自動車の開発促進	継続	会員メーカー各社は電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池車等の次世代自動車の開発・車種展開を推進した。 平成27年度の乗用車新車販売台数において次世代自動車の占める割合は23%となった。	継続	会員メーカー各社は電気自動車、プラグインハイブリッド自動車等	継続	会員メーカー各社は電気自動車、プラグインハイブリッド自動車等
	(一社) 日本自動車工業会	会員メーカー各社は電気自動車、プラグインハイブリッド自動車の整備が軌道に乗るトヨタ、日産、ホンダの3社は、水素ステーションの整備が軌道に乗るまでの中期的(2020年頃までを予定)な対応として、水素ステーションの運営に係わる経費の一部を共同で支援することを表明した。	継続	ハイブリッド車を全国で約63万台販売。「シエンタ」にハイブリッドモデルを設定。新型プリウスを発売予定。グローバル累計販売台数800万台達成 (H27年7月末)	継続	・ハイブリッド車を全国で約65万台(目安)販売 ・「オオリス」「グウィップ」にハイブリッドモデルを設定 ・C-HR を発売予定。 ・新型プリウスPHVを発売予定 ・グローバル累計販売台数900万台達成 (H28年4月末)	継続	・ハイブリッド車を全国で販売。・PHV車を全国で販売。
	愛知県	○次世代自動車先端技術研修 中堅・中小の自動車部品メーカーの技術者等に対し、今後自動車業界で求められる次世代自動車に係る主要テーマ(燃費効率、予防・機能安全、軽量化等)について、大手完成車及び部品メーカーによる最新技術の研究に関する講座を開催する。 【27年度実績】 愛知県と一般社団法人中部産業連盟が連携し「自動車の未来2016最新技術研究講座」を実施。 参加者数 83人 開催場所 ウィンクあいち 1101会議室	継続					

4 エコドライブの普及促進
(1) エコドライブの実践

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組	
			継続	継続	継続	継続
1 自動車運転免許の取得、更新時における、エコドライブ教育の実施	愛知県警察本部	交通の教本(全国版)、安全運転テキスト&ガイド(愛知県版)に交通公害及びエコドライブについての啓発内容を記載 ※ それぞれにエコドライブの項目を記載	継続		継続	
	愛知県	エコドライブ普及啓発リーフレットを作成、県内の自動車学校を通じ、運転免許取得予定者へ配布	継続		継続	
	東海郵政局	運転手へアイドリング・ストップを心がけるよう徹底	継続		継続	
	名古屋市	○アイドリングストップの義務化 平成15年度より、市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例に基づいて、アイドリング・ストップの遵守を指導。 ○アイドリングストップの啓発 一宮市住宅事業等に關する指導要綱の適用される建築等で、付随する駐車場が500㎡以上の場合、アイドリングストップを周知するよう指導。	継続		継続	
	一宮市	一宮市地球温暖化対策実行計画で、アイドリングストップ等のエコドライブを励行。	継続		継続	
		春日井市生活環境の保全に關する条例に基づき、駐車場面積200㎡以上の駐車場管理者に、駐車場利用者に対しアイドリングストップを周知するよう指導	継続		継続	
	春日井市	地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコドライブDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発 次世代自動車の導入、自動車利用の抑制およびエコドライブの推進など環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施している事業所などを「さすがエコドライブ」認定し、その取り組みを促進	継続		継続	
		公共施設の駐車場に看板を設置するなど、アイドリング・ストップを徹底	継続		継続	
		アイドリングストップの啓発 「にっしん環境まちづくりサポーターズ」会員向けメールマガジンでの啓発	継続	アイドリングストップの啓発	継続	アイドリングストップの啓発
	2 アイドリング・ストップの徹底	日進市	○公社管理の駐車場においてアイドリング・ストップを実施 ・黒川ビル地下1階駐車場 ・高架下駐車場 ・管理基地駐車場 ○アイドリングストップ支援機器導入助成 アイドリングストップの実践に効果のある機器を導入する事業者に対して補助金を交付 (3.2基) アイドリング・ストップ、急発進や急停車の抑制など、エコドライブの実施(社用車・スタック車など)	継続		継続
	(一社)愛知県トラック協会	アイドリング・ストップ運動 会員事業者への自覚的アイドリング・ストップ実施の呼びかけと、乗合バスの信号待ち時におけるお客様への環境対策へのご理解、ご協力	継続		継続	
	NPO法人ボランティアリーネイバーズ	穏やかな発進や一定速度での走行等、具体的な方策を盛り込んだ啓発ツール「エコドライブ10のすすめ」においてアイドリングストップも啓発。	継続	穏やかな発進や一定速度での走行等、具体的な方策を盛り込んだ啓発ツール「エコドライブ11のすすめ」においてアイドリングストップも啓発。	継続	穏やかな発進や一定速度での走行等、具体的な方策を盛り込んだ啓発ツール「エコドライブ10のすすめ」においてアイドリングストップも啓発。
	(公社)愛知県バス協会	小牧市環境マネジメントマニュアルに基づいた運用手順書によりアイドリングストップに努めている。	継続		継続	
	(一社)日本自動車工業会	環境マネジメントシステムに基づいた手順書によりアイドリング・ストップを推進している。	継続		継続	
	小牧市	○アイドリング・ストップの徹底 アイドリング・ストップに協力して宣言していただける市民、事業者の募集。宣言した方に、スタッカーを配布	継続		継続	
	大府市		継続		継続	
	知多市		継続		継続	

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組
			継続	継続	
2. アイドリング・ストップの徹底	知立市	アイドリングストップ徹底を職員に啓発	継続		継続
	尾張旭市	○アイドリングストップの励行 環境マネジシステムに基づき、職員にアイドリングストップを	継続		継続
	高浜市	アイドリング・ストップの徹底	継続		継続
	岩倉市	アイドリングストップの励行	継続		継続
	みよし市	○アイドリング・ストップの徹底 公用車のアイドリング・ストップを徹底	継続		継続
	扶桑町	アイドリングストップの啓発実施	継続		継続
	幸田町	アイドリングストップの啓発	継続		継続
	愛知県	運転手がアイドリングストップを心掛けるようTM運動を行い、意識を高めている。	継続	アイドリングストップを徹底させるため、財産管理課自動車運転手に対して文書による注意喚起を実施	継続
	名古屋	○エコドライブマイスターの認定 平成20年度から、事業所内で積極的にエコドライブの実践を呼びかける「エコドライブマイスター」を認定。(累計4,016名認定)	継続		継続
	名古屋市	○省エネ走行研修会の開催(349名)	継続		継続
3. 事業所におけるエコドライブ推進リーダーの設置	(一社)愛知県トラック協会	県内の自動車学校において、エコドライブ講習会を実施(J.A.F.と共催)	継続		継続
	愛知県	【実績】3回開催、受講者37名	継続		継続
	大府市	「地球温暖化防止月間」・「大気汚染防止推進月間」における啓発の一環で、広報、ホームページに掲載する。	継続		継続
	名古屋	○エコドライブ講習会 エコドライブ運転を学ぶ体験型講習会を開催。(11月8日、14名)	継続		継続
	名古屋	○エコドライブ市民モニター募集 ①エコドライブ講習会の効果を実感してもらうため、②普段の運転の状況を知ってもらいエコドライブにつなげてもらうための2つのコースでモニターを募り、燃費計の貸し出しを実施。	終了		
	豊橋市	○一般市民向けエコドライブ講習会の開催(6月21日13名参加)	継続	6/19エコドライブ講習会開催13名参加	継続
	岡崎市	○エコドライブコンテスト(11月29日開催13名参加)	継続	○エコドライブコンテスト(11月27日開催予定)	継続
	春日井市	『世界最速女性レーサー』井原慶子氏から学ぶセーフティ&エコドライブ講習会(11月28日開催、44名参加)	継続	エコドライブ講習会(12月10日開催予定)	継続
	豊田市	○とよた交通安全・防災フェスタ、トラックと交通安全・環境フェア、サフワラーフェスタ等イベントにおいて「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続	○とよた交通安全フェスタ、トラックと交通安全・環境フェア、サフワラーフェスタ等イベントにおいて「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続
	西尾市	軍車を使用して環境に優しい「エコドライブ」を学ぶ講習会です。車に取り付けた燃費計とデータ記録装置を使って、参加者が運転した際の燃費をトレジャーハンティングの前後で計測、運転の特徴などを数値で把握し、その結果をもとに参加者に応じたアドバイスで「エコドライブ」を修得します。	新規	エコドライブコンテストの開催予定。(11月20日)	継続
5. シンポジウムやコンテスト等イベントの開催	(一社)日本自動車連盟愛知支部	軍車を使用して環境に優しい「エコドライブ」を学ぶ講習会です。車に取り付けた燃費計とデータ記録装置を使って、参加者が運転した際の燃費をトレジャーハンティングの前後で計測、運転の特徴などを数値で把握し、その結果をもとに参加者に応じたアドバイスで「エコドライブ」を修得します。	継続	軍車を使用して環境に優しい「エコドライブ」を学ぶ講習会で、車に取り付けた燃費計とデータ記録装置を使って、参加者が運転した際の燃費をトレジャーハンティングの前後で計測、運転の特徴などを数値で把握し、その結果をもとに参加者に応じたアドバイスで「エコドライブ」を修得します。	継続

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組 (予定も含む)	平成29年度以降に実施予定の取組
5 シンポジウムやコンテスト等イベントの開催	(一社) 日本自動車工業会	国連エコドライブカンファレンスが10月に名古屋、12月にパリ (COP21 サイドイベント) で開催予定。自工会として参加し、運輸部門の温暖化対策としてエコドライブも含めた統合的対応策としてエコドライブも含まれた統合的対応策を国内外の関係者に訴求する。 第14回東京モーターショー (10月29日～11月8日) における環境省出展ブースに協力し、エコドライブの普及促進を図る。	国連エコドライブカンファレンスが11月末に米国、11月にモロッコ・マラケシュ (COP22 サイドイベント) で開催予定。自工会として参加し、運輸部門の温暖化対策としてエコドライブも含めた統合的対応策を国内外の関係者に訴求する。 一方、アジア各国 (政府、自動車業界) に対してもエコドライブの普及促進策を訴求する。	国連エコドライブカンファレンス、COP23等の国際的機会に利用し、
	尾張旭市		○エコドライブの教育 あさひ健康ファスタにおいて、エコドライブシミュレーターを使い、エコドライブ診断を実施、エコドライブの実践を呼び掛け。	継続
	岡崎市	○環境学習において、エコドライブを推奨している。		継続
	半田市	市広報誌へエコドライブの推奨を掲示	市広報誌へエコドライブの推奨を掲示	継続
	豊川市	職員向けエコドライブ講習会を開催 ・12/17開催、103人参加	職員向けエコドライブ講習会を開催 ・11月の「エコドライブ月間」、12月の「地球温暖化防止月間」、大気汚染月間」にあわせ、広報紙で啓発している。	継続
6 環境教育の推進	碧南市	○交通安全学習センターの交通安全講習 (企業向け) 等において「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	○交通安全学習センターの交通安全講習 (企業向け) 等において「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続
	豊田市	○交通安全学習センターの交通安全講習 (企業向け) 等において「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	○交通安全学習センターの交通安全講習 (企業向け) 等において「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続
	名古屋高速道路公社		○高齢者運転技術講習にて「とよた3Sドライブ」の実践を呼び掛け	継続
	小牧市	ホームページによる啓発	○道路標識改修の啓発 ・ドライブベーンに対して、ラジオCM、ホームページ、道路情報板を利用したエコドライブ等の啓発	継続
	大府市	職員向けの研修にてエコドライブを啓発		継続
	東浦町	職員に向けて、エコドライブを推奨する	職員に向けて、エコドライブを推奨する	継続
			職員に向けて、エコドライブを推奨する	継続

(2) エコドライブシステムの普及

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組 (予定も含む)	平成29年度以降に実施予定の取組
1 エコドライブ支援システムの普及	豊田市	引き継ぎ、WEBによるエコドライブ支援を実施予定 (エココミュニティ登録者に対して、実施内容によるCO2削減量を表示)	引き継ぎ、WEBによるエコドライブ支援を実施予定 (エココミュニティ登録者に対して、実施内容によるCO2削減量を表示)	エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発予定
	(一社) 愛知県トラック協会	○エコドライブ支援機器導入助成 エコドライブの実践に効果のある機器を導入する事業者に対して補助金を交付		継続
2 エコドライブ評価システムの普及	(一社) 日本自動車工業会	燃費計などのエコドライブツールの積極的な装着。現在販売されている乗用車の約9割の車種に装着されている。	燃費計などのエコドライブツールの積極的な装着。現在販売されている乗用車の約10割の車種に装着されている。	燃費計などのエコドライブツールの積極的な装着。現在販売されている乗用車の約10割の車種に装着されている。
	(一社) 日本自動車工業会 (トヨタ自動車㈱)	乗用車にエコドライブ支援装置を装着して販売。	乗用車にエコドライブ支援装置を装着して販売。	継続
	豊田市	引き継ぎ、WEBによるエコドライブ支援を実施予定 (エココミュニティ登録者に対して、実施内容によるCO2削減量を表示) ○グリーン経営認証取得助成 認証取得講習会の開催及び取得費用の一部を補助する (講習会2回、14名、新規5件、更新29件)	引き継ぎ、WEBによるエコドライブ支援を実施予定 (エココミュニティ登録者に対して、実施内容によるCO2削減量を表示)	エコモビ実践キャンペーン等への参加促進により、エコドライブの実践を啓発予定
	(一社) 愛知県トラック協会	○グリーン・エコプロジェクトの実施 参加事業者の車内の燃費データデータベースを構築するとともに、継続的なエコドライブ活動の推進、支援を行う。 (5.0事業所、1,284台)		継続
	(一社) 日本自動車工業会	一部のトラックメーカーにおいて、運送事業者向けにオンラインでの燃費管理システムを提供するとともに、燃費向上のための運転技術に関する講習会を開催。	一部のトラックメーカーにおいて、運送事業者向けにオンラインでの燃費管理システムを提供するとともに、燃費向上のための運転技術に関する講習会を開催。	継続

5 交通需要の調整・低減

(1) 物流の改善

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)	平成29年度以降に実施予定の取組
2 モーダルシフトの促進	中部運輸局 中部地方環境事務所	「モーダルシフト等推進事業」が創設されたことを受け、CO2排出原単位の小さい輸送手段への転換を推進し低炭素型の物流体系の構築を図る。	継続	
		「物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」(H17年7月公布、H17年10月施行)に基づく、物流拠点の集約化等によりCO2排出量削減等が図られる総合効率化計画の認定(愛知県内認定件数:10件)	継続	
4 共同輸配送の促進	中部地方環境事務所	・物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」(H17年7月公布、H17年10月施行)に基づく、物流拠点の集約化等によりCO2排出量削減等が図られる総合効率化計画の認定(愛知県内認定件数:10件)	新規	
		・物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」(H17年7月公布、H17年10月施行)に基づく、物流拠点の集約化等によりCO2排出量削減等が図られる総合効率化計画の認定(愛知県内認定件数:10件)	継続	
2 モーダルシフトの促進	中部地方環境事務所	・物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」(H17年7月公布、H17年10月施行)に基づく、物流拠点の集約化等によりCO2排出量削減等が図られる総合効率化計画の認定(愛知県内認定件数:10件)	新規	
		・物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」(H17年7月公布、H17年10月施行)に基づく、物流拠点の集約化等によりCO2排出量削減等が図られる総合効率化計画の認定(愛知県内認定件数:10件)	継続	
4 共同輸配送の促進	中部地方環境事務所	・物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」(H17年7月公布、H17年10月施行)に基づく、物流拠点の集約化等によりCO2排出量削減等が図られる総合効率化計画の認定(愛知県内認定件数:10件)	新規	
		・物流業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」(H17年7月公布、H17年10月施行)に基づく、物流拠点の集約化等によりCO2排出量削減等が図られる総合効率化計画の認定(愛知県内認定件数:10件)	継続	

(2) 公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組		平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組	
		内容	状況	内容	状況	内容	状況
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	中部地方環境事務所	・エコレールラインプロジェクト事業(国土交通省連携事業) 鉄軌道事業者を対象に、機関車庫に再生可能エネルギー発電設備等を導入し、又軌道車両にVVVF制御装置や回生ブレーキ等のCO2削減に直接寄与する設備を導入する際、補助対象経費の1/3の補助を実施(4件(事務所管内の実績))	終了	・低炭素化に向けた公共交通利用転換事業(国土交通省連携事業) 低炭素社会を目指し、マイカーへの依存度が高い地方都市圏を中心に、公共交通ネットワークの再構築や利用者利便の向上に係る面的な取組を支援し、マイカーからCO2排出量の少ない公共交通へのシフトを推進する。 補助対象者：各法に基づき協議会に属する民間企業、民間団体、地方公共団体等 対象事業：車線ネットワークの充実・利便性向上に資する事業、ネットワークの再編・拡充に資する事業 補助割合：計画策定支援、対象経費の1/3を上限に補助、計画に基づき取組の支援：対象経費の1/2を上限に補助	継続		
			新規	・省CO2型社会の構築に向けた社会ストック対策支援事業(国土交通省連携事業) 社会的ニーズが高い社会システムの整備に当たり、エネルギー起源CO2の排出が長期にわたって革新的に少なくなる技術等を導入する事業に対し、支援する。 補助対象者：鉄軌道事業者 対象事業：鉄軌道事業者における次世代半導体素子を用いたVVVFインバータ等における省電力化・低炭素化に資する設備等の導入など、CO2削減に直接寄与する設備導入経費を補助 補助割合：1/3を上限に補助	継続		
		○地下鉄東山線の終電時刻延長 平成26年7月より、金曜日及び休日の前日(8月13日～15日、12月29日～1月3日、土・日・休日は除く)における終電を45分延長	継続				
		○地域巡回バスの運行時間増大 地域巡回バス全22系統において、従来の8往復(9時台～16時台)に加え1往復(8時台または17時台)を増便	継続				
		○中山間地域におけるコミュニティバスの運行	継続				
		○公共交通の利用促進 11月7日・8日に公共交通に親しむ日を実施し、公共交通に対する意識改革と利用の動機づけを行った。	継続				
		i-バスの運行	継続				
		○地域公共交通会議の開催 H28.1.28開催	継続	○地域公共交通会議の開催	継続	○地域公共交通会議の開催	継続
		地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続				
		次世代自動車の導入、自動車利用の抑制およびエコドライブの推進など環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施している事業所などを「かすがいいエコオフィス」と認定し、その取り組みを促進	継続				
愛知県鉄道設備改修補助 愛知県鉄道設備の改修に伴う補助金の交付	継続						
かすがいいシティバスの運行	継続						

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)	平成29年度以降に実施予定の取組	
1 公共交通機関の整備及び維持・充実	豊川市	コミュニティバス10路線を運行し、その利用促進策として「夏休み小学生50円バス」、「夏休み路線バス探検キヤラパン」、「1日フリー乗車券」等を実施。また、利用者の待合空間の改善を図るべく、主要なバス停にベンチを設置。 ・夏休み小学生50円バス 実施期間：7/18～8/31 利用人数：466人 内容：バスのごとも運賃を1乗車50円 ・夏休み路線バス探検キヤラパン 実施日：8/8 参加人数：64人 内容：小学生以下と保護者を対象に、路線バスの整備工場の見学や路線バスとの綱引き体験など ・1日フリー乗車券販売 実施期間：10/1～11/30 販売枚数：大人303枚・小人25枚 利用回数：581回 内容：市内バス路線において、1日限定で乗り放題が可能な乗車券を販売 ・待合空間改善 利用者の待合環境改善のため本館の湯のバス停留所に固定式のベンチを設置	継続	継続	継続
	津島市	○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 市民等の活動支援及び公共施設利用の利便性の向上を図るため、津島市巡回バス「ふれあいバス」の運行を実施した。	継続	継続	継続
	豊田市	効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、路線改備を17件行うとともに、新たなバス評価の仕組みを整理した。	継続	引き続き、効率的で利便性の高い公共交通の実現を目指すため、必要に応じて路線改備を行うとともに、新たなバス評価とそれに伴う地域バス支援を実施予定。	継続
		デマンド型乗合タクシー(いこまいカー)の運行事業委託	継続	継続	継続
	西尾市	市街地循環バス(六万石ぐるりんバス)の運行事業委託	継続	継続	継続
		○名鉄西尾、蒲郡線の利用促進 市民応援団に利用促進業務を委託。また、利用者数増進のため、団体・親子に対し運賃補助。(団体:延べ201団体、親子:延べ229組) ○鉄道施設維持管理費を負担	継続	継続	継続
	新城市	○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 市内バス事業を実施	継続	継続	継続
		新設	○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 高速乗合バス事業を実施(新坂～藤ヶ丘)	継続	継続
					新規 ○充電インフラ施設の整備促進 新庁舎建設と併せて自動車充電設備整備を予定
		事前情報・通過情報知らせるバスロケーションシステムを西尾多総合病院に設置 (平成27年5月1日より)	終了		
	東海市	・コミュニティバスのダイヤ、ルートの見直し (平成27年5月1日より新ダイヤ、新ルート) ・聞き取り調査及び乗降調査 ・コミュニティバスのダイヤ、ルートの見直しに向けた聞き取り調査及び乗降調査を実施	継続	・聞き取り調査及び乗降調査 コミュニティバスのダイヤ、ルートの見直しに向けた聞き取り調査及び乗降調査を実施予定。	継続
	日進市	コミュニティバス(ぐるりんばす)の運行 8路線 496,175人	新規	・75歳以上のバス運賃無料化	継続
	飛島村	公共交通機関の維持 飛島バス(蟹江線、名港線)の運行 乗合タクシーによる海神病院と村バス停間の運行	継続	コミュニティバス(ぐるりんばす)の運行	継続
	名古屋高速道路公社	○道路の広域ネットワークの形成(名古屋高速道路の建設) ・名古屋西JCT 近畿自動車道伊勢線連絡路	継続		継続
NPO法人ボランティアネットワーク	公共交通機関の利用促進(スタッフ通勤・社用時利用)	継続		継続	

施設名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組
	安城市	<p>○あんくるバスの運行 11路線でコミュニティバスの運行を実施 ○あんくるタクシンの運行 3地区においてデマンドタクシーの運行を実施</p> <p>安城市民であり、かつ、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者の市内循環バス(あんくるバス)及びデマンドタクシー利用の無料化を図る(H26.10.1～)</p> <p>○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 ・瀬戸市コミュニティバス(8路線)の運行 ・バスのイベントの実施(10月25日、参加者100名) ・バスの乗り方教室の開催(10月27日、参加者85名)</p>	継続	継続	継続
	瀬戸市	○刈谷市公共交通連絡バスの運行 浜清線や環境負荷低減等の観点から、市内公共施設等を結ぶ連絡バスを委託運行した。 ○バス停ベンチ等設置 総合健康センターバス停にベンチを設置した。	継続	継続	○刈谷市公共交通連絡バスの運行 浜清線や環境負荷低減等の観点から、市内公共施設等を結ぶ連絡バスを委託運行する。 ○バス停ベンチ等設置 一ツ木町一本木バス停及び依佐美中学校バス停に上屋、ベンチを設置する。
	刈谷市	市民応援団を主体とした名鉄利用促進活動の実施 予算2,000千円	継続	継続	「市民まるごと赤い電車応援団」を主体とした名鉄利用促進活動の実施 予算3,300千円
	瀬都市	コミュニティバスの運行 市内13コースにて毎日(12/31～1/3除く)運行	継続	継続	継続
	大山市	コミュニティバスの運行	継続	継続	継続
	小牧市	○こまき巡回バス(コミュニティバス)の運行 市内13コースにて毎日(12/31～1/3除く)運行	継続	継続	○こまき巡回バス(コミュニティバス)の運行 市内19コースにて毎日(12/31～1/3除く)運行
	稲沢市	●公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 稲沢市コミュニティバスの運行 路線数 7路線、利用者数 105、342人(平成27年4月1日～11月30日：8ヶ月分)	継続	継続	継続
	稲沢市	●稲沢市コミュニティタクシー タクシー乗り場(4ヶ所)と特定バス停留所(9ヶ所)の間をバス接続便として運行している。利用者数 106人(平成27年4月1日～11月30日：8ヶ月分)	継続	継続	継続
	大府市	○公共交通機関の維持・利用促進 循環バス「ふれあいバス」の運行	継続	継続	継続
	知多市	○公共交通機関の整備及び維持・充実、利用促進 ・知多市コミュニティ交通の運行事業者に対する運行維持を目的とした負担金の支払い。 ・バス利用促進物品の作成及び配布。	継続	継続	平成27年度実施した取組に加え、 ・10月1日から運賃の引下げ及び車両更新による利用の促進。
	知立市	コミュニティバスの運行	継続	継続	継続
	尾張旭市	○公共交通機関の整備及び維持・充実 市営バス「あさひ一号」の運行 路線数：2(西ルート・東ルート) 便数：月～土9便 利用者数：157、319人	継続	継続	○公共交通機関の整備及び維持・充実 市営バス「あさひ一号」の運行内容を変更し、日祝日の運行や平日の増便を実施。 路線数：2(西ルート・東ルート) 現行便数：平日9便、土休日5便 利用者数は1年経過していないため、把握していない。
	岩倉市	デマンド型乗合タクシーの運行	継続	継続	継続
	豊明市	○公共交通機関の整備及び維持 低公害車であるコミュニティバス(ひまわりバス)を3台運行	継続	継続	継続
	田原市	○田原市コミュニティバスの運行 公共交通空白地域の解消及び市街地中心部の活性化のため、市内8路線の運行実施	継続	継続	○田原市コミュニティバスの運行 公共交通空白地域の解消及び市街地中心部の活性化のため、市内8路線の運行実施
	弥富市	コミュニティバス運行 利用者促進のため無料おとし乗車券 期間限定	継続	継続	継続
	みよし市	コミュニティバス(さんさんバス)の運行	継続	継続	継続
	東浦町	コミュニティバスの運行 (4路線、173,991人利用)	継続	継続	継続
	大口町	コミュニティバス運行事業	継続	継続	コミュニティバス運行事業
	阿久比町	○公共交通機関の利用促進 循環バスの運行	継続	継続	コミュニティバス運行事業
	東浦町	ダイヤの見直し バス車内で町内の園児の絵等を展示	継続	継続	バスロケーションシステムの導入予定 バスギャラリーの開催
	美浜町	コミュニティバスの運行	継続	継続	継続
	幸田町	○コミュニティバスの運行 5台のえこたんバスで町内を4路線に分け無料で運行。	継続	継続	継続

1 公共交通機関の整備及び維持・充実

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組
2 乗合バス事業者等への補助	豊橋市	○路線維持費補助金 路線バスへの支援 ○乗合バス 乗合バスへの支援	継続	継続	継続
	岡崎市	○不採算バス路線の確保維持 不採算バス路線を補助することで、地域住民の生活交通の確保維持を図った。	継続	継続	継続
	一宮市	バス路線維持対策補助金	継続	継続	継続
	半田市	○乗合バス事業者等への補助 市内を運行する路線バス会社に補助金を交付	継続	○乗合バス事業者等への補助 市内を運行する路線バス会社に補助金を交付	継続 ○乗合バス事業者等への補助 市内を運行する路線バス会社に補助金を交付
	春日井市	未実施	新規	陸上代替路線補助(予定) 名鉄バスの運行する玉野台循環線及び東野線に欠損が生じた際に補助金を交付	継続
	豊川市	地方バス路線運行対費費補助金を広域バス路線の運行事業者である豊鉄バス(新豊線・豊川線)へ交付 補助金額：18,607,000円	継続	継続	継続
	豊田市	対象となる市内民間路線への次償額補助を実施	継続	対象となる市内民間路線への次償額補助を実施予定	継続 対象となる市内民間路線への次償額補助を実施予定
	西尾市	乗合バス事業者(ふれんどバス)に対する補助	継続	継続	継続
	瀬戸市	○乗合バス事業者への補助 基幹バス運行事業者(名鉄バス)へ運行経費の補助(8392万円)・市内	継続	継続	継続
	刈谷市	○乗合バス事業者への路線維持費補助 名鉄バスが運行する刈谷・愛致大線を維持するため、維持費の補助を実施。	継続	継続	継続
	安城市	○路線バス事業者への補助 市内を運行する路線バス2路線に対し、運行継続のための補助を実施	継続	継続	継続
	蒲郡市	交通空白地解消のための表題的取組み等の実施(短期的対応)として、形原地区支線バス「あじさいくるりんバス」の運行 予算5,000千円 乗合バス事業者へ次償額補助 予算3,800万円	継続	形原地区支線バス「あじさいくるりんバス」の運行補助 予算4,500千円 特定区画バス運行補助 4,000万円	継続 継続
	小牧市	○乗合バス事業者への補助 市民の日常生活に必要な交通手段を確保するため、運行経費を補助 継続：間内・岩倉線(名鉄バス)	継続	継続	継続
	知多市	○乗合バス事業者等への補助 市内路線バス3路線(岡田線・日長団地線・佐布里線)の運行事業者に対する運行維持を目的とした補助金の交付。	継続	継続	継続
	高浜市	乗合バス事業者等への補助	継続	継続	継続
	田原市	○地方バス路線支援 生活交通路線を維持するため、豊鉄バス伊良湖本線及び支線運行を支援	継続	○地方バス路線支援 生活交通路線を維持するため、豊鉄バス伊良湖本線及び支線運行を支援	継続
	東浦町	乗合バス事業者(名鉄バス)への補助 (1路線、1件)	継続	継続	継続
愛知県	乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス及び過疎特定バス路線を維持・確保するため、次償額等について助成する。 乗合バス、4路線 市町村営バス、33路線 ○乗合バス事業者に対する助成措置 地域住民の生活に必要な旅客自動車輸送の確保のために維持・確保が必要と認められた広域的・幹線的なバス路線(生活交通路線)を運行する乗合バス事業者に対して、運行の維持等を図るため補助金を交付。(5事業者へ交付)	継続	乗合バス事業者等への補助 三河山間地域における生活基盤として重要な役割を果たしている過疎バス及び過疎特定バス路線を維持・確保するため、次償額等について助成する。 乗合バス、4路線(予定) 市町村営バス、33路線(予定)	継続 継続	

施策名		実施主体		平成27年度実施した取組		平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組	
3 交通結節点の改善	中部地方環境事務所	・スマート・ムーブ普及啓発事業 地球温暖化防止活動の一環として、「移動」を推進する「smart move」(スマート・ムーブ)キャンペーンを東海エリアで実施、スマート・ムーブへの賛同「宣言」を獲得	継続	・スマート・ムーブ普及啓発事業 地球温暖化防止活動の一環として、「移動」を推進する「smart move」(スマート・ムーブ)キャンペーンを東海エリアで実施、スマート・ムーブへの賛同「宣言」を獲得	継続	・スマート・ムーブ普及啓発事業 地球温暖化防止活動の一環として、「移動」を推進する「smart move」(スマート・ムーブ)キャンペーンを東海エリアで実施、スマート・ムーブへの賛同「宣言」を獲得	継続		
	春日井市	JR春日井駅において、自由通路の整備及び駅前広場の再整備 名鉄味美駅において、駅東側からのアクセス利便性確保と駅前広場整備	継続		継続				
	豊田市	豊田市バス乗降口整備の基本計画・調査を実施	継続	豊田市バス乗降口整備の準備設計及び関係機関協議	継続	豊田市バス乗降口整備の詳細設計			
	新城市						新規	JR新城市において、駅前広場整備を実施予定	
	東海市	○交通結節点の改善 名鉄南加木屋駅の東側において、駅前広場及びアクセスするための市道を整備	継続		継続				
	刈谷市	○バス停ベンチ等設置 刈谷駅北口バス停のベンチを増設した。 ○バスロケーションシステム導入 バスロケーションシステム導入について検討した。	継続		○バスロケーションシステム導入 ○モニター設置 刈谷駅南口バス停、刈谷駅北口バス停、刈谷津田総合病院バス停にモニターを設置する。	継続	○モニター設置 ひまわりバス停 刈谷ハイウェイエイオアシスバス停にモニターを設置する。		
	名古屋市長	○パークアンドライド駐車場の整備及び利用促進 ・認定制度による民間駐車場の有効活用 ・ウェブサイトや情報誌等による認定パークアンドライド駐車場の広報	継続		継続				
	半田市	○パーク・アンド・ライド駐車場の整備 パーク・アンド・ライド駐車場として位置付けている半田市雁宿駐車場の管理・運営	継続		○パーク・アンド・ライド駐車場の整備 パーク・アンド・ライド駐車場として位置付けている半田市雁宿駐車場の管理・運営	継続	○パーク・アンド・ライド駐車場の整備 パーク・アンド・ライド駐車場として位置付けている半田市雁宿駐車場の管理・運営		
	碧南市	市内2ヶ所のパークアンドライドを維持管理。 収容台数：157台(89台、68台)	継続		継続				
	豊田市	愛知県鉄道駅沿いに5駐車場(貝津駅、末野原駅、四郷駅、保見駅、八草駅)を引き続き運用予定	継続		愛知県鉄道駅沿いに5駐車場(貝津駅、末野原駅、四郷駅、保見駅、八草駅)を引き続き運用予定	継続	愛知県鉄道駅沿いに5駐車場(貝津駅、末野原駅、四郷駅、保見駅、八草駅)を引き続き運用予定		
	大府市長	市営駐車場の運営、啓発	継続		継続				
	知立市長	かきつばた祭開催期間におけるパーク・アンド・ライド駐車場の整備	終了		終了				
	田原市長	○田原駅南公共駐車場の管理・運営 パーク&ライド駐車場として位置付けられている田原駅南公共駐車場の管理・運営	継続		○田原駅南公共駐車場の管理・運営 パーク&ライド駐車場として位置付けている田原駅南公共駐車場の管理・運営	継続	○田原駅南公共駐車場の管理・運営 パーク&ライド駐車場として位置付けている田原駅南公共駐車場の管理・運営		
東浦町	パークアンドライド駐車場の利用促進 イオンモール東浦の駐車場の一部をパークアンドライド駐車場として活用(3台)	継続		パークアンドライド駐車場の利用促進 イオンモール東浦の駐車場の一部をパークアンドライド駐車場として活用(10台予定)	継続	パークアンドライド駐車場の利用促進 イオンモール東浦の駐車場の一部をパークアンドライド駐車場として活用(10台予定)			
愛知県	○ 桃花台線旧車両基地用地の一部をパーク&ライド駐車場として活用 中央道高速バスの停留所に隣接する桃花台線旧車両基地用地(愛知県と小牧市の共有地)の一部を駐車場事業者へ貸付し、パーク&ライド駐車場として活用。 ○ 愛・地球博記念公園園駅北側パーク&ライド駐車場の運営(パーク&ライド推進会議で運営) リニモの利用促進及びびらから公共交通(リニモ)への転換を図るため、愛・地球博記念公園駅北側において、パーク&ライド駐車場を運営 ○店舗利用型P&R駐車場の設置推進 3店舗で計48台の店舗利用型P&R駐車場設置の継続的な推進に取り組んだ。	継続		○ 桃花台線旧車両基地用地の一部をパーク&ライド駐車場として活用 中央道高速バスの停留所に隣接する桃花台線旧車両基地用地(愛知県と小牧市の共有地)の一部を駐車場事業者へ貸付し、パーク&ライド駐車場として活用。 ○ 愛・地球博記念公園園駅北側パーク&ライド駐車場の運営(パーク&ライド推進会議で運営) リニモの利用促進及びびらから公共交通(リニモ)への転換を図るため、愛・地球博記念公園駅北側において、パーク&ライド駐車場を運営 ○店舗利用型P&R駐車場の設置推進 3店舗で計48台の店舗利用型P&R駐車場設置の継続的な推進に取り組んだ。	継続	○ 桃花台線旧車両基地用地の一部をパーク&ライド駐車場として活用 中央道高速バスの停留所に隣接する桃花台線旧車両基地用地(愛知県と小牧市の共有地)の一部を駐車場事業者へ貸付し、パーク&ライド駐車場として活用。 ○ 愛・地球博記念公園園駅北側パーク&ライド駐車場の運営(パーク&ライド推進会議で運営) リニモの利用促進及びびらから公共交通(リニモ)への転換を図るため、愛・地球博記念公園駅北側において、パーク&ライド駐車場を運営 ○店舗利用型P&R駐車場の設置推進 3店舗で計48台の店舗利用型P&R駐車場設置の継続的な推進に取り組んだ。			
			終了		終了			終了	

(3) 自動車利用方法の改善、多様化

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組 (予定も含む)	平成29年度以降に実施予定の取組	
1 次世代自動車等先進エコカーによるカーシェアリングの推進	豊田市	超小型電気自動車・電動アシスト自転車のシェアリング実証事業を実施 (約30ステーション、コムス約100台、PAS約100台規模で実施。(実証事業名:ハーモ))	継続	継続	超小型電気自動車のシェアリング事業を実施 (約50ステーション、コムス約100台規模で実施予定。(事業名:ハーモ))
	安城市	〇きへむナビ事業 「安城市創業者エネルビー・プロジェクト推進協議会」による、乗り捨て型カーシェアリング事業。 (平成27年度利用人数:2984人)	継続	継続	継続
2 用途に合った次世代自動車等先進エコカーの利用促進	愛知県	「地球温暖化防止月間」・「大気汚染防止推進月間」における啓発の一環	継続	継続	継続
	豊橋市	〇電動アシスト自転車購入補助金 電動アシスト自転車購入者への補助 (620台)	継続	継続	継続
3 自動車利用の抑制・平準化	春日井市	電動アシスト自転車の公用利用 (10台)	継続	継続	継続
	春日井市	地球温暖化に備え行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコドライブDAY」と定め、公共交通機関の利用を啓発	継続	継続	継続
	春日井市	次世代自動車の導入、自動車利用の抑制およびエコドライブの推進など環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施している事業所などを「かすがいいエコオプティス」と認定し、その取り組みを促進	継続	継続	継続
	(一社) 中部経済連合会	〇実証試験の企画検討 平成26年10月に発行した「地域別の移動特性に応じた効率的なモビリティ社会のあり方について」の内容を踏まえ、実証試験を企画検討	継続	〇実証試験の詳細検討 平成29年度の実証試験に向けて、実施内容の詳細検討と実施体制の立ち上げ	平成29年度をめぐりに実証試験を実施
	NPO法人中部リサイクル運動市民の会	所有していた自動車は廃車にし、カーシェアリングの利用を始め、継続中。	継続	継続	継続
安城市		社員に対する自動車通勤の原則禁止の通達をし、継続中。	継続	継続	継続
		総合運動公園内の体育施設にて開催される大会の事前打合せにおいて、乗り合わせによる来場者参加者へ周知するよう主催者に要請した。	継続	継続	継続
		〇ノーカーデーの実施 原則、毎月第1金曜日をノーカーデーとし、通勤に公共交通機関、自転車等の自家用車以外での通勤の協力を呼び掛けている。	継続	継続	継続
		ノーカーデー (毎月第1水曜日) を実施し、公用車の利用を自粛する。	継続	継続	継続
		〇「ノーカー出張の日」の推進 毎週水曜日をノーカー出張の日とし、職員に対して自動車利用の抑制を呼びかけ	継続	継続	継続
		〇レンタサイクル事業の実施 田原市中心市街地にレンタサイクルステーションを5カ所設置し、31台の自転車無料で貸し出し	継続	継続	継続
		ノーカーデーの実施 毎年12月第1水曜日に愛知県が実施する「県内一斉エコ通勤デー」に賛同し、通勤に公共交通機関、自転車等の自家用車以外での通勤の協力を呼び掛けている。	継続	継続	継続

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組
			継続	継続	
4 エコ通勤・エコ通学の促進	中部運輸局	「エコ通勤優良事業所認証制度」の普及促進	継続		
	豊橋市	市役所職員においてエコ通勤の推奨	継続		継続
	岡崎市	第4回岡崎版エコポイント抽選(予算額1,133千円) (応募者数:906名)	継続	○第5回岡崎版エコポイント抽選(予算額1,111千円)	継続 ○第6回岡崎版エコポイント抽選
	一宮市	○エコドライブコンテスト(11月29日開催13名参加)	継続	○エコドライブコンテスト(11月27日開催予定)	継続
	半田市	○ノーマイカーの実施 毎月第1水曜日をノーマイカーデーとし、職員に自家用車での通勤を控え、徒歩や自転車、公共交通機関での通勤を促す。	継続		継続
	春日井市	○エコ通勤の推奨 職員へエコ通勤(自転車、徒歩)の推奨	継続	○エコ通勤の推奨 職員へエコ通勤(自転車、徒歩)の推奨	継続 ○エコ通勤の推奨 職員へエコ通勤(自転車、徒歩)の推奨
	碧南市	地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコドライブDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続		継続
	豊田市	地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコドライブDAY」と定め、職員に公共交通機関による通勤を奨励	継続		継続
	西尾市	次世代自動車の導入、自動車利用の抑制およびエコドライブの推進など環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施している事業所などを「すがすがしいエコオフィス」と認定し、その取り組みを促進 職員へ、毎月エコ通勤週間を設けている。	継続		継続
	日進市	豊田エコ交通をすすめる会を年3回実施 すすめる会が主体となった全市民を対象に「豊田エコ交通月間」を開催(公共交通、自転車、エコドライブ)	継続	「豊田エコ交通をすすめる会」のワーキングチームによるモビリティマネジメントを実施予定	「豊田エコ交通をすすめる会」のワーキングチームによるモビリティマネジメントを実施予定
	知立市	西尾市役所として毎月エコ通勤週間を定めて、職員の公共交通機関や自転車、徒歩、自動車の相乗りなどによる通勤を推進している。	継続		継続
	尾張旭市	エコモビ通勤の実施(職員が月2回ノーマイカーデー通勤の実施、毎月第1水曜日はエコモビの日に合わせて積極的に実施するように推進)	継続	エコモビ通勤の実施(職員が月2回ノーマイカーデー通勤の実施、毎月第1水曜日はエコモビの日に合わせて積極的に実施するように推進)	エコモビ通勤の実施(職員が月2回ノーマイカーデー通勤の実施、毎月第1水曜日はエコモビの日に合わせて積極的に実施するように推進)
	田原市	毎月1回、職員のノーマイカーデーとしてエコ通勤を促進	継続		継続
	愛西市	○ノーマイカーの実施 毎月第1水曜日を「ノーマイカーデー」とし、職員に自動車利用の抑制を助行	継続		継続
	津須市	○毎月水曜日をエコ通勤デーと定め、市職員に対して自転車や徒歩、公共交通機関の利用等を推進	継続		継続
	赤富士市	毎週水曜日をノーマイカーデーとしてエコ通勤を促進	継続		継続
蟹江町	ノーマイカーデーの推進(毎月10日、20日、30日)	継続		継続	
阿久比町	職員ノーマイカーデーの実施 毎月第1水曜日 通勤距離10km以下 毎週水曜日 通勤距離4km以下	継続		継続	
東浦町	毎月10日を「ノーマイカーデー」として、自転車等での通勤を助行する。	継続		継続	
幸田町	○ノーマイカーデーの実施 奇数月第3金曜日を公共交通機関等での出勤の日としている。 ノーマイカーデーの実施	継続	○ノーマイカーデーの実施 毎月第1水曜日をノーマイカーデーとしてエコ通勤を推進	継続 ノーマイカーデーの実施	
		○エコドライブの啓蒙 職員を対象にしたチラシエクシオンを毎月1回実施し、啓蒙。	継続		継続

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組
			継続	継続	
5 EVを活用したスマートグライドの検討	豊田市	市本地区スマートタウン整備とエコフレンドリータウンでの導入効果のPR	継続	エコフレンドリータウンでの導入効果のPR	継続
	豊橋市	ええじかないかカーフリーデー2015 9/19開催 モビリティウィーク 9/14～25	継続	ええじかないかカーフリーデー2016 9/17開催 モビリティウィーク9/12～23	継続
	津島市	○「エコモビリティライフ」の推進 「エコモビ」を推進するために、毎月第3木曜日を「エコモビの日」を して設定。「自家用車」の使用をできるだけ避け、徒歩や自転車、公 共交通機関での通勤を実践していただくように推進した。	継続		継続
	日進市	エコモビリティライフの推進(啓発チラシの設置)	継続	エコモビリティライフの推進(啓発チラシの設置)	エコモビリティライフの推進(啓発チラシの設置)
	(公社)愛知県バス 協会	○「エコ モビリティ ライフ」の推進	継続		継続
	(一社)中部経済連 合会	○エコモビリティライフの推進 エコモビリティ推進協議会のメンバーとして会員企業への周知を図 り、エコモビリティライフを推進	継続		継続
	瀬戸市	○「エコ モビリティライフ」の推進 ・市内の掲示板に職員の啓発 ・市が関 連するイベント等に「エコ モビリティライフ」をPRするブースの設 置	継続		継続
	刈谷市	○「エコ・モビリティライフ」の推進 わんさか祭りにおいてブースを設置し、「エコ・モビリティライ フ」についてPRを実施した。(8月15日)	継続	○「エコ・モビリティライフ」の推進 わんさか祭りにおいてブースを設置し、「エコ・モビリティライ フ」についてPRを実施した。(8月20日)	継続
	蒲郡市	○「エコ モビリティ ライフ」の推進 エコモビの日及び前後2日間にエコモビを実践した職員数を毎月集計 し、実践率を職員向けに公表している。	継続		継続
	小牧市	○「エコ モビリティ ライフ」の推進 市ホームページにおけるエコモビリティライフ推進記事の掲載や、 市役所窓口における啓発チラシの設置	継続		継続
	尾張旭市	○エコモビリティライフの推進 毎月第1水曜日を「エコモビの日」とし、職員に環境にやさしい交通 行動を励行	継続		継続
	豊明市	○「エコ・モビリティ・ライフ」の推進 市内イントラにて呼びかけ	継続		継続
	北名古屋	○エコモビリティライフの推進 市役所職員に対し、毎月第1水曜日に自転車や徒歩、公共交通機関を 使用して通勤するよう、掲示板にて周知し、実施を求めた。	継続		継続
東浦町	環境イベントで「エコ モビリティ ライフ」を推進 (町環境イベントでのブース出展、チラシ配布)	継続		継続	
愛知県	・県内事業所が一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモビ」 を実施する「エコモビ実践キャンペーン」を実施 ・「エコモビ」推進の取組や「エコモビ」活動を行っている団体を募 集・表彰する「エコモビ推進表彰」を実施 ・11月6日に「エコモビリティ ライフ 県民の集い2015」を開 催 ・県内各地でエコモビ普及啓発活動を実施 ・「あいちエコモビリティ推進協議会」(事務局:交通対策 課)の活動)	継続	・県内事業所が一定期間に「エコ通勤」を中心とした「エコモ ビ」を実施する「エコモビ実践キャンペーン」を実施 ・「エコモビ」推進の取組や「エコモビ」活動を行っている団体を募 集・表彰する「エコモビ推進表彰」を実施 ・11月14日に「エコモビリティ ライフ 県民の集い201 6」を開催 ・県内各地でエコモビ普及啓発活動を実施 ・「あいちエコモビリティ推進協議会」(事務局:交通対策 課)の活動)	継続	

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組
			継続	継続	
2 自転車利用の促進	中部地方環境事務所	・スマートバイク・インシアチブの展開 (人と環境にやさしい自転車の利用を促進して持続可能な社会づくりを目指すコンセプト、またその施策パッケージ) ・ウェブサイトの立ち上げ等情報発信(予定)	継続	・スマートバイク・インシアチブの展開 (人と環境にやさしい自転車の利用を促進して持続可能な社会づくりを目指すコンセプト、またその施策パッケージ) ・ウェブサイトの立ち上げ等情報発信	継続
	半田市	○レンタサイクル事業 33台で運用している。(クラシティブ田10台、赤レンガ建物10台、アインプラザ半田5台、新美南吉記念館8台)	継続	○レンタサイクル事業	○レンタサイクル事業
	春日井市	地球環境に優しい行動を積極的に行う日として、毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、自転車や公共交通機関の利用を啓発	継続	○公用自転車 公用自転車の導入(10台)	○公用自転車
	豊田市	次世代自動車の導入、自動車利用の抑制およびエコドライブの推進など環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実施している事業所などを「かすがいエコオフェイス」と認定し、その取り組みを促進	継続		
	NPO法人中部リサイクル運動市民の会	豊田エコ交通をすすめる会を年3回実施 すすめる会が主体となって全市民を対象に「豊田エコ交通月間」を開催(公共交通、自転車、エコドライブ)	継続	「豊田エコ交通をすすめる会」のローキッキングチームによるモビリティマナーイベントを実施予定	「豊田エコ交通をすすめる会」のローキッキングチームによるモビリティマナーイベントを実施予定
	NPO法人ボランティアリーナーネイバーズ	社員に対する自転車通勤に関する取り決めを作成し、運用を開始した。	継続		
	安城市	自転車利用の促進(スタップ通勤・社利用)	継続		
	蒲郡市	○自転車購入及びTSMマーク付帯保険に対する補助(自転車購入補助71件、自転車安全整備費補助44件) ○自転車啓発イベントの実施 (10月25日サイクルフェスティバル開催) ○子ども自転車教室の開催(2回) 電動アシスト自転車購入補助券を交付(25件分)	継続		
	大山市	職員に対し、近場への移動で市保有自転車の利用を促す。	継続		
	大府市	「地球温暖化防止月間」・「大気汚染防止推進月間」における啓発の一環で、広報、ホームページに掲載する。	継続		
	蟹江町	電動自転車を公用車として使用する。 (H21年度導入/30台)	継続		
	東浦町	不用品回収で住民から回収した自転車を、役場に配置し、公用自転車として再利用(4台)	継続	不用品回収で住民から回収した自転車、公用自転車として再利用 公用自転車取扱基準を改正し、町内施設に配置予定	不用品回収で住民から回収した自転車を、公用自転車として再利用
	幸田町	○電動アシスト自転車購入補助 電動アシスト自転車の購入費の1/3以内を補助。補助限度額20,000円。 50台・996千円 ○放置自転車の再利用 放置自転車や粗大ごみで出された自転車を整備し公用自転車として使用。 5台	終了		

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組
			継続	継続	
3 自転車共同利用の促進	一宮市	○レンタサイクルの実施 観光案内所にて有料のレンタサイクルを実施 ・1人乗り用・・・3台 ・幼児同乗用・・・2台 レンタサイクル 放置自転車をリサイクルすることで、廃棄物の減量を図りつつ、市民の移動支援を行う。	継続		継続
	春日井市	超小型電気自動車・電動アシスト自転車のシェアリング実証事業を実施(約30ステーション、コムス約100台、PAS約100台規模で実施。(実証事業名:ハーモ)	継続		継続
	豊田市	超小型電気自動車・電動アシスト自転車のシェアリング実証事業を実施(約50ステーション、コムス約100台規模で実施予定。(事業名:ハーモ)	継続		継続
	NP0法人中部リサイクル運動市民の会	社員共有の自転車を事務所に設置し、継続中。	継続		
	NP0法人ポランタリーネイバーズ	自転車共同利用の促進(事務所車普及)	新規	自転車共同利用の促進(事務所車普及)	継続
	安城市	○レンタサイクル事業の実施 11ポート61台でレンタサイクル事業を実施	継続		継続
	小牧市	○レンタサイクル事業の実施 公共交通の利用促進を目的とした市民団体である「公共交通利用促進協議会」(事務局:小牧市)にて、小牧駅西駐車場において、レンタサイクル事業を実施。 13台の自転車にて、年間3,135件の貸出を行いました。	継続		継続
	知立市	駅前駐車場と市役所に自転車を設置し、観光・買物に利用	継続		継続
	愛知県	○リニモ沿線レンタサイクル(パーク&ライド推進会議で運営・レンタサイクル台数70台) リニモ沿線における公共交通の利用促進・観光周遊等の促進と地球温暖化防止のため、沿線の学生・住民・観光客や企業等の従業員に対して登録制のレンタサイクルを実施。	継続		継続
	豊田市	構造改革特区を活用して、市街地在住・在勤の市民を対象に、パーク&ライドの公道実証実験を実施	継続	一般市民を対象に、中心市街地においてよたエコフルタワンを起点としたパーク&ライドの公道実証実験を実施	継続
4 パーク&ライドの公道実証実験の実施					一般市民を対象に、中心市街地においてよたエコフルタワン等を起点としたパーク&ライドの公道実証実験を実施 予定

6 交通流対策の推進

(1) 通過・流入交通の分散、回避

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組		平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組	
		継続	新規	継続	新規	継続	新規
1 環状道路、バイパスの整備	中部地方整備局	【名四】バイパスの整備 国道23号名倉道路の整備	継続	継続	継続	継続	継続
		【名四】バイパスの整備 国道153号豊田北バイパスの整備	継続	継続	継続	継続	継続
		【名四】バイパスの整備 国道155号豊田南バイパスの整備	継続	継続	継続	継続	継続
		【愛国】バイパスの整備 41号名濃バイパスの整備	継続	継続	継続	継続	継続
		【愛国】環状道路の整備 名古屋環状2号線の整備	継続	継続	継続	継続	継続
	中日本高速道路㈱中部支社	交通の円滑化のための高規格幹線道路網の新規整備 名古屋高速道路 名古屋第二環状自動車道	継続	継続	継続	継続	継続
		交通の円滑化のためのスマートIC等追加インターチェンジの新規整備 東名高速道路 守山スマートIC	継続	継続	継続	継続	継続
	愛知県道路公社	愛知県道路公社	新規	新規	新規	新規	新規
		(一社) 中部経済連 合会	継続	継続	継続	継続	継続
		大府市	継続	継続	継続	継続	継続
尾張旭市		継続	継続	継続	継続	継続	
愛知県		継続	継続	継続	継続	継続	
2 立体交差事業等の推進	名古屋市	道路と鉄道の立体交差化 単独立体交差事業の実施 ・都針守山本通線と名鉄瀬戸線 ・都針万場藤前線と近鉄名古屋線	継続	継続	継続	継続	継続
		○J R武豊線連続立体交差化事業 土地区画整理事業調査(事業認可等)	継続	継続	継続	継続	継続
		○交差点改良：昭和町一交差点に右折レーン設置工事を実施 市道 白山港本町線；半田市昭和町二丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続
		○交差点改良：旭町三丁目地内交差点に右折レーン設置工事を実施 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続
		○交差点改良 ・都市計画道路路養父森岡線、東海市民病院入口交差点において鉄道の立体交差事業を実施	継続	継続	継続	継続	継続
	半田市	○立体交差事業等の推進 山線布袋塚付近において鉄道高架事業を実施 市道 瀬戸新居線の大久手町交差点の改良工事実施に伴い、右折ボケットを設置	継続	継続	継続	継続	継続
		○交差点改良 市道 瀬戸新居線の久手町交差点に右折レーン設置工事を実施	継続	継続	継続	継続	継続
		○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続
		○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続
		○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続
東海市	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
江南市	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
尾張旭市	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
岩倉市	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 市道 成岩本町旭線；半田市旭町三丁目地内	継続	継続	継続	継続	継続	
愛知県	○連続立体交差事業等の推進 知立市、半田市において連続立体交差事業を実施。	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 国道301号、豊田市九久平町交差点始め75箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施	継続	継続	継続	継続	継続	
	○立体交差事業等の推進 (主) 岐阜稲沢線 刈安賀1号踏切 始め3路線	継続	継続	継続	継続	継続	
	○交差点改良 国道301号、豊田市九久平町交差点始め84箇所において、右折帯設置等の交差点改良工事を実施	継続	継続	継続	継続	継続	
	○連続立体交差事業等の推進 (主) 岐阜稲沢線 刈安賀1号踏切 始め4路線	継続	継続	継続	継続	継続	

7 自動車交通集中地域等の対策の推進

実施主体	実施内容	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)	平成29年度以降に実施予定の取組
愛知県警察本部	愛知県警察本部	愛知県道環境対策連絡会議における取組の推進	継続	継続
名古屋市長久手市	名古屋市長久手市	○常時観測局の測定結果の公表 ・インターネットにより、毎月の大気汚染常時監視観測値及び毎年度の測定値を情報提供している。(名古屋高速道路及び名古屋環状2号線9局) 市内200地点において、二酸化窒素の簡易計測を実施 ＜6-2-6再掲＞ 道路公道環境状況予測システム運営 北高藤島線の整備	継続 継続 継続 継続 平成29年3月30日完了予定	継続 継続 継続 継続

8 普及啓発活動の推進

実施主体	実施内容	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)	平成29年度以降に実施予定の取組
中部運輸局	中部運輸局	小牧市CNG車普及促進協議会の幹事としてCNG車の普及活動に参画	継続	継続
岡崎市	岡崎市	新規 ○燃料電池自動車の広報用パネル、エコカー普及に向けたパンフレットの作成	継続	継続
一宮市	一宮市	新規 ○FCVの展示	終了	終了
春日井市	春日井市	消費生活展(6月26,27日)、春日井まつり(10月17,18日)において、電気自動車および燃料電池自動車展示	消費生活展(6月10,11日)において、電気自動車および燃料電池自動車展示	消費生活展(6月10,11日)において、電気自動車および燃料電池自動車展示
豊川市	豊川市	おいでん祭でEV車、燃料電池車を展示 ・5/23・24開催	おいでん祭でEV車、燃料電池車を展示 ・5/21・22開催	おいでん祭でEV車、燃料電池車を展示 ・5/21・22開催
豊田市	豊田市	各種イベントで次世代自動車に関する補助金のPRを実施 「とよたSMKURAプロジェクト」を立ち上げ、環境対策、防災対策の両側面において統一した市民啓発を展開予定 【取組内容】 SAKURAプロジェクトを活用した下記取組や各種イベント時等に、SAKURA色のTシャツの着用やロゴを使い統一したPRを行う う (1) 防災関連イベント、防災訓練、地域防災講座での活用 →給電機能を持つアリアスPHVを「走る発電機」として災害時の電源としてPR (2) 環境関連イベント、環境教育での活用(環境関連施設、学校)・エコアフリミリア支援補助金のPR(次世代自動車、外部給電・充電設備への補助) (3) エコフルタイムインイベントでの活用(平常時は、スマートハウスとセツで展示) (4) 豊田市PRイベントでの活用 【実績と今後のイベント予定】 8月9日エコフルタイムインイベント 9月12日豊田タワースタ(プース来場者約100名) 9月26~27日産業フェスタ(プース来場者約100名) 10月10~12日 ガーデンフェスタ・都市緑化フェア 10月18日 交通安全学習センターイベント 11月1日 市民防災総合演習 11月2~4日 名古屋城 秋の陣 11月7~8日 豊田マラソン 11月15日 とよた防災とボランティアデー 3月19日~20日 とよたまちづくりフェスタ2016SPRING(メモリアルアークシヨインとよた) 継続	各種イベントで次世代自動車に関する補助金のPRを実施 引続き、各種イベントで次世代自動車に関する補助金のPRを実施	各種イベントで次世代自動車に関する補助金のPRを実施 引続き、各種イベントで次世代自動車に関する補助金のPRを実施
豊田市	豊田市	継続 【イベント出展】 4月29日~5月1日 とよたガーデニングフェスタ With 都市緑化フェア2016 (プース来場者約500人) 5月15日 とよた安全安心フェスタ (プース来場者約300人) 6月5日 エコットフェスタ (プース来場者約100人) 9月24日~25日 産業フェスタ (プース来場者約600人) 【イベント実施予定】 次世代自動車体験イベント 11月12日~13日 ●次世代自動車の環境性能と防災性能の優位性を訴求し、市民の車購入時には次世代自動車を選択してもらおうため、イベントを実施する。併せて、次世代自動車の外部給電設備を活用したエコ防災キャンプ体験を実施する。 参加者見込み:300人	継続 引続き、各種イベント等でPR実施予定	継続 引続き、各種イベント等でPR実施予定
NPO法人ITS JAPAN	NPO法人ITS JAPAN	①ITS世界会議デトロイトでの展示・情報発信 ・Japan Pavilionの設置 ・各種セッションへの登壇、発表 ・会員企業にて展示、PRイベント、等を実施	継続 ①メルボルンITS世界会議での活動PR ・将来ビジョンに基づいたPRポスター作成 ・Japan Pavilion設置(27団体参加) ※省庁、関連団体、企業、等	継続 ①モントリオールITS世界会議での活動PR ・Japan Pavilionの設置 ・各種セッションへの登壇、発表 ・会員企業にて展示、各種イベント企画
(一社)日本自動車工業会	(一社)日本自動車工業会	環境省主催のCOOL CHOICE キックオフイベントに当会会長が参加し、次世代自動車車を展示。	継続 COOL CHOICE キャンペーンに協力する。	継続 COOL CHOICE キャンペーンに協力する。
刈谷市	刈谷市	刈谷市に祭りにて、燃料電池自動車の展示を実施(8月15日) 刈谷産まつりにて、燃料電池自動車の展示を実施(11月7日~8日)	終了	終了
小牧市	小牧市	設立しているCNG車普及促進協議会の活動としての事業者訪問、イベントへの出展及び商工会議所の所報による普及啓発	継続	継続
幸田町	幸田町	○次世代自動車等先進エコカー普及に向けた広報6月号に掲載 次世代自動車購入に対する補助金について広報6月号に掲載	継続	継続

実施主体	平成27年度実施した取組	平成28年度実施した取組(予定も含む)	平成29年度以降に実施予定の取組
名古屋市長官舎 名古屋市長官舎 名古屋市長官舎	○イベントの実施 環境デーなごや2015中央行事(9月19日)でエコカーコーナーを設け、EV、PHV、FCV、CNG、LPG車等展示 ○試乗会の実施 EV、PHV、FCVの運転試乗(10月11日)CBC自動車学校 ○出前講座の実施 小・中・高校生を対象とした出前講座でのEV、FCVの展示	○イベントの実施 環境デーなごや2016中央行事(9月17日)でエコカーコーナーを設け、FCV、PHV、CDV、CNG車、LPG車等を展示、外部給電の実施 ○エコカー試乗会の実施 EV、PHV、FCVの運転試乗(10月30日)CBC自動車学校 ○出前講座の実施 小・中・高校生を対象とした出前講座でのEV、FCVの展示	○イベントの実施 ○エコカー試乗会の実施 ○出前講座の実施
豊橋市長官舎 豊橋市長官舎	○燃料電池自動車展示 月1回市内にて展示会を実施する	○燃料電池自動車展示 月1回市内にて展示会を実施する	○豊田スタジアムにおいて「第13回みみなで学ぼう!トラックと交通安全・環境フェア」を開催
(一社)愛知県トラック協会	○10月5日、豊田スタジアムにおいて「第10回みみなで学ぼう!トラックと交通安全・環境フェア」を開催 (来場者数:33,000人)	○10月2日、豊田スタジアムにおいて「第12回みみなで学ぼう!トラックと交通安全・環境フェア」を開催 (来場者数:昨年と同様)	○豊田スタジアムにおいて「第13回みみなで学ぼう!トラックと交通安全・環境フェア」を開催
(一社)日本自動車工業会	第44回東京モーターショーを開催(10月29日～11月8日)。環境省出展ブースにおける国民運動(Cool Choice)と連携し、次世代自動車等の普及啓蒙を推進。	平成28年東京モーターショー休館中 5月の伊勢志摩サミット、9月末に開催されたG7交通大臣会合において、電気自動車、燃料電池車等の次世代自動車が展示、試乗され、このイベントに自工会として協力。	第45回東京モーターショーを開催(10月27日～11月5日)。セミナー、出展ブース等のイベントにおいて、次世代自動車の普及啓蒙を推進予定。
安城市	○燃料電池自動車展示	○燃料電池自動車展示	
田原市	○次世代自動車等先導エコカーの普及啓蒙 平成27年7月26日に開催した「たはらエコフェスタ2015」において燃料電池自動車の試乗会を開催	○次世代自動車等先導エコカーの普及啓蒙 エコ・ガールズシティ啓蒙イベント「たはらエコフェスタ」において燃料電池自動車を展示	終了
東浦町	東浦自然環境学習の森において、水素自動車の展示・試乗を実施(10月24日)	東浦自然環境学習の森において、水素自動車の展示・試乗を実施(10月24日)	終了
NPO法人ITS JAPAN 会(東邦ガス株)	②安全・環境にやさしい自動運転取組を推進 ・各種活動を通じて、会員情報交流実施 ・SIP-adusへの協力活動を推進 天然ガス自動車21台導入 (天然ガス自動車累計606台導入)	②安全・環境にやさしい自動運転取組を推進 ・具体的な推進テーマを設定 ・SIP-adusへの協力活動を推進 天然ガス自動車31台(予定)導入	②安全・環境にやさしい自動運転研究会活動 ・各種取組の進捗
岡崎市	○イベントでのFCVの展示 ・なごや水フェスタ(6月7日) ・区民まつり ・水防訓練 ・名古屋まつり(10月17日、18日)(パレード先導車) ・サイエンス&アーツフェスタイベント(11月7日)名古屋科学館等 ・森踊りでの電源としての活用等 ○試乗会の実施 FCVの同乗試乗(8月1日)サイエンスパーク 守山区	○イベントでのFCVの展示 ・なごや水フェスタ(6月5日) ・区民まつり ・名古屋まつり(10月15日、16日)(パレード先導車) ○試乗会の実施 ・FCVの同乗試乗(8月9～5日)環境科学調査センター 南区、8月6日 サイエンスパーク 守山区	○イベントでのFCVの展示 ○試乗会の実施
春日井市	消費生活展(6月26、27日)、春日井まつり(10月17、18日)において、燃料電池自動車展示	消費生活展(6月10、11日)において、燃料電池自動車展示	消費生活展(6月10、11日)において、燃料電池自動車展示
豊田市	燃料電池車の購入補助を実施 次世代自動車普及促進費補助金 個人向け:5件 事業者向け:14件	燃料電池車の購入補助を実施 次世代自動車普及促進費補助金 個人向け:4件 事業者向け:7件	燃料電池車の購入補助を実施 次世代自動車普及促進費補助金 個人向け:4件 事業者向け:7件
西尾市	環境Wave21において、FCVの展示及び試乗会を実施。(12月6日)	環境Wave21において、FCVの展示及び試乗会を実施。(12月6日)	
(一社)日本ガス協会(東邦ガス株)	あいちFCV普及促進協議会への参画(お上り「メッセナゴヤ2015」等のイベントへの参加によるFCV(燃料電池自動車)と水素ステーションのPR	あいちFCV普及促進協議会への参画(お上り「メッセナゴヤ2015」等のイベントへの参加によるFCV(燃料電池自動車)と水素ステーションのPR	
尾張旭市	○燃料電池自動車の普及 あさひ健康フェスタにおいて、燃料電池自動車展示	○燃料電池自動車の普及 あさひ健康フェスタにおいて、燃料電池自動車展示	
常滑市	常滑まつりにおいて、燃料電池自動車の展示を実施。	常滑まつりにおいて、燃料電池自動車の展示を実施。	
幸田町	○燃料電池自動車の普及 燃料電池自動車購入に対して補助金を交付 事業者1台、個人0台	○燃料電池自動車の普及 燃料電池自動車購入に対して補助金を交付 事業者1台、個人0台	
愛知県	・あいちFCV普及促進協議会の開催(2回) ・セミナーやFCV展示・試乗の実施(19回) ・メッセナゴヤ等への出展(1回) ・水素社会普及啓蒙ゾーンによる普及啓蒙(毎日)	・あいちFCV普及促進協議会の開催(2回) ・セミナーやFCV展示・試乗の実施(19回) ・メッセナゴヤ等への出展(1回) ・水素社会普及啓蒙ゾーンによる普及啓蒙(毎日)	

9 道路環境改善対策

(1) 道路構造対策、沿道の環境改善対策の推進

施策名	実施主体	平成27年度実施した取組		平成28年度実施した取組(予定も含む)		平成29年度以降に実施予定の取組		
1 道路構造対策	中部地方整備局	【名国】道路構造対策 国道1号中川区高杉町から下之一色町において、4車道幅工事を実施(L=1.3km)	終了					
		【名国】道路施設対策 国道1号中川区下之一色町において、H=1.0mの遮音壁をL=0.5km設置	終了					
	名古屋市	【名国】道路施設対策 国道23号南区堤町北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続	【名国】道路施設対策 国道23号港区港島北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続			
		【名国】道路施設対策 国道23号南区堤町北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続	国道23号港島北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続			
	名古屋高速道路公社	【名国】道路施設対策 国道23号南区堤町北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続	国道23号港島北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続			
		【名国】道路施設対策 国道23号南区堤町北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続	国道23号港島北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続			
	刈谷市	【名国】道路施設対策 国道23号南区堤町北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続	国道23号港島北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続			
		【名国】道路施設対策 国道23号南区堤町北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続	国道23号港島北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続			
	愛知県	【名国】道路施設対策 国道23号南区堤町北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続	国道23号港島北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続			
		【名国】道路施設対策 国道23号南区堤町北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続	国道23号港島北、港区藤高市内において、環境施設帯設置工事を実施(緑地帯)	継続			
2 沿道の環境改善対策	中部地方整備局	【名国】沿道の環境改善 国道23号三好町内において、特車取締基地改良工事、建屋新築工事、重量計設置工事を実施	終了					
		【名国】沿道の環境改善 国道23号通行ルール周知の広報を実施(広報看板等の設置)	継続					
	名古屋高速道路公社	【名国】沿道の環境改善 国道23号通行ルール周知の広報を実施(広報看板等の設置)	継続					
		【名国】沿道の環境改善 国道23号通行ルール周知の広報を実施(広報看板等の設置)	継続					
	稲沢市	【名国】沿道の環境改善 国道23号通行ルール周知の広報を実施(広報看板等の設置)	継続					
		【名国】沿道の環境改善 国道23号通行ルール周知の広報を実施(広報看板等の設置)	継続					
	愛知県	【名国】沿道の環境改善 国道23号通行ルール周知の広報を実施(広報看板等の設置)	継続					
		【名国】沿道の環境改善 国道23号通行ルール周知の広報を実施(広報看板等の設置)	継続					
	自動車騒音の最新規制適合車への転換を促進	日本自動車工業会	【名国】沿道の環境改善 国道23号通行ルール周知の広報を実施(広報看板等の設置)	継続	自動車騒音の低減に向けて、騒音規制に対応した世界トップクラスの自動車を提供	継続	自動車騒音の低減に向けて、騒音規制に対応した世界トップクラスの自動車を提供	継続
			【名国】沿道の環境改善 国道23号通行ルール周知の広報を実施(広報看板等の設置)	継続	自動車騒音の低減に向けて、騒音規制に対応した世界トップクラスの自動車を提供	継続	自動車騒音の低減に向けて、騒音規制に対応した世界トップクラスの自動車を提供	継続

愛知県の自動車環境対策に関する主な取組について

1 低公害車の普及促進に関する取組

(1) 低公害車を導入する事業者に対して補助金を交付

- 補助制度開始から昨年度までの補助実績は表のとおり。2015年度末までに計3,186台の車両に対して補助を行った。

表 低公害車導入促進費補助金補助実績

(台数)

対象事業	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	計
CNGトラック・バス	62	86	83	66	140	73	69	36	68	34	16	15	14	3	765
ハイブリッドトラック・バス	0	16	119	93	73	84	147	12	6	48	62	22	21	4	707
低PMトラック・バス		83	161												244
新長期規制適合車トラック・バス			27	246	547										820
CNG改造トラック・バス			32	61	50	7	11	0	0	12	1				174
ハイブリッド乗用車及び電気自動車								3	67	104	59	69	61	62	425
燃料電池自動車													0	51	51
合計	62	185	422	466	810	164	227	51	141	198	138	106	96	120	3,186

- 現在の対象車両：CNGトラック・CNGバス、ハイブリッドトラック・ハイブリッドバス、電気自動車トラック、電気自動車乗用車(PHVを含む)、燃料電池自動車

(2) 電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車に対する自動車税の課税免除

- 平成24年1月1日から平成29年3月31日までの間に、新車新規登録を受けた電気自動車、プラグインハイブリッド自動車及び燃料電池自動車を対象とし、これらの車両の自動車税を、新車新規登録年度の月割分及び翌年度から5年度分の全額を課税免除する。

< 課税免除対象イメージ >

	23年度分	24年度分	25年度分	26年度分	27年度分	28年度分	29年度分	30年度分	31年度分	32年度分	33年度分
23年度登録	月割×	免除①	免除②	免除③	免除④	免除⑤	課税	課税	課税	課税	課税
24年度登録	—	免除(月割)	免除①	免除②	免除③	免除④	免除⑤	課税	課税	課税	課税
25年度登録	—	—	免除(月割)	免除①	免除②	免除③	免除④	免除⑤	課税	課税	課税

↓ 3年間延長

26年度登録	—	—	—	免除(月割)	免除①	免除②	免除③	免除④	免除⑤	課税	課税
27年度登録	—	—	—	—	免除(月割)	免除①	免除②	免除③	免除④	免除⑤	課税
28年度登録	—	—	—	—	—	免除(月割)	免除①	免除②	免除③	免除④	免除⑤

(3) 県公用車への低公害車導入

- 県の公用車に低排出かつ低燃費車、HV、PHVを新たに導入した。平成27年度における愛知県の低公害車導入状況は表のとおり。

表 次世代自動車等先進エコカー導入状況（平成27年度末現在）

車種	構成割合	
	目標	実績
燃料電池自動車	40%	2台
電気自動車		1台
プラグインハイブリッド自動車		4台
天然ガス自動車		20台
ハイブリッド自動車		46台
環境性能に特に優れた従来車		65台
合計	-	138台
エコカー導入率	40%	12.9%

※ 一般公用車の総数：1,069台

- 平成26年度、新たに市販開始された燃料電池自動車（FCV）を2台購入。
- 導入したFCVは、県民の皆様に実物を見て、FCVに関する理解を深め、その良さを知っていただくことでFCVの普及をより一層促進するため、県内各地の環境学習関連のイベントに展示活用している。（平成28年10月末までに約70のイベントで展示）

<イベントでの展示風景>



(4) 「従業員向け充電設備整備促進ガイドライン」及び「EV・PHV用充給電設備整備促進ガイドライン」を作成

- 「従業員向け充電設備整備促進ガイドライン」は企業などがEV・PHVの通勤利用を促進するため、従業員用駐車場での充電器整備の利点や整備手法、補助制度などを解説。
- 「EV・PHV用充給電設備整備促進ガイドライン」はクルマに充電するだけでなく、クルマから住宅など建物に電気を供給できる「充給電設備」の整備を促進するため、省エネや災害対応といった利点や整備手法、補助制度などを解説。

<ガイドラインの構成>

	ガイドラインの構成	ポイント
第1編 次世代自動車を取り巻く環境	1. 自動車利用の現況	自動車保有状況、利用実態
	2. パブリック領域とプライベート領域の区分	充電インフラの利用場面
	3. 次世代自動車の普及状況など	EV・PHV、充電インフラの普及状況
	4. 愛知県における対応	国・愛知県における取組方針
	5. 今後の方向性	今後の対応方針
第2編 従業員向け充電設備整備促進ガイドライン	1. 「従業員向け充電設備」とは？	用語解説
	2. 導入支援制度について	支援制度の現況
	3. 先行事例について	先行事例における取組状況
	4. 導入見通しについて	認知度、取組状況、導入意向など
	5. 従業員向け充電設備導入のポイント	現況と課題、導入のポイント
	6. 従業員向け充電設備の普及拡大に向けて	普及拡大に向けた今後の方向性
第3編 EV・PHV用充給電設備整備促進ガイドライン	1. 「充給電設備」とは？	用語解説
	2. 充給電設備の特徴	先行事例における取組状況
	3. 充給電設備でできること	充給電設備の活用方法
	4. 充給電設備の現状と今後の見通し	認知度、取組状況、導入意向など
	5. 充給電設備導入のポイント	充給電設備の現況と課題、導入のポイント
	6. 充給電設備を活用した「将来のあるべき姿」	普及拡大に向けた今後の方向性

2 自動車交通集中地域等の対策の推進

- 愛知県警察本部、国土交通省中部地方整備局及び中日本高速道路株式会社名古屋支社と協力して「道路沿道環境状況予測システム」を運用している。
- 名古屋南部地域及び岡崎市大平地区のNO₂及びSPMを監視し、当日の大気環境濃度が環境基準を上回ると予測された場合、道路交通情報板を用いて道路沿道の大気汚染状況等の環境情報を提供している。
- 平成27年度は、大気環境負荷軽減のための情報表示の要請を行った日はなかった。

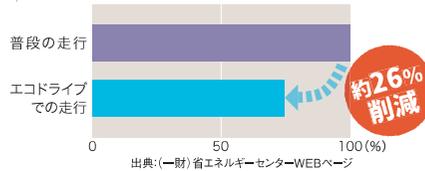
<情報提供イメージ>



エコドライブでいこう

エコドライブをすると、燃費は約26%も向上。
ガソリンで走るクルマも、電気で走るエコカーも、
エコドライブで行きましょう。

エコドライブによる平均的な燃費向上効果



やさしい発進で ゆったり行こう

最初の5秒で時速20kmを目安に発進すると、燃費は10%程度改善されます。やさしい発進はエコで安全です。

燃費
10%程度
UP

エアコン控えてエコドライブ

外気温が25℃でエアコンを使った場合、燃費は12%も悪化します。エアコン、特に冷房は控えめに。

燃費
12%
UP

タイヤの空気圧を チェックしよう

空気圧が適正値から0.5kg/cm²不足すると、2~4%の燃費悪化につながります。安全のためにも、空気圧は適正値に保ちましょう。

燃費
2~4%
UP

車間距離を取って 定速走行

加速や減速を繰り返すと、2~6%燃費が悪化します。車間距離を取って、できるだけ定速で運転しましょう。

燃費
2~6%
UP

不要な アイドリングはやめましょう

10分間のアイドリングをすると、約130ccの燃料を使います。待ち合わせや荷物の積み降ろしの際には、不要なアイドリングはやめましょう。

燃費
3%
UP

トランクから 荷物を下ろそう

100kgの荷物を乗せて走ると、燃費は3%悪化します。使わない荷物の乗せっぱなしは止めましょう。

早めの アクセルオフで 燃費向上

エンジンブレーキを使うと、燃費は2%程度向上します。先を読む運転は環境にも財布にも優しい安全な運転です。

燃費
2%程度
UP

渋滞を避け 余裕をもって 行こう

1時間のドライブで、道に迷って10分間余計に走行すると、17%程度の燃費悪化に相当します。カーナビや地図を活用して、道に迷わず、渋滞を避けて、快適なエコドライブを。

燃費
17%程度
UP

自分の燃費を 把握しよう

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。

エコカー にしよう

Let's Drive Ecological Cars

FCV

水素



EV

電気



PHV

電気 + ガソリン



お問い合わせ先

愛知県 環境部 大気環境課 地球温暖化対策室
TEL ● 052-954-6217 (ダイヤルイン) FAX ● 052-955-2029



エコカーにしよう

あなたのクルマを、**(エコで、お得で、安心な)**エコカーに替えましょう。
ガソリンなどを使う従来の自動車に比べ、家庭で充電できる電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド自動車(PHV)、さらに水素で走る燃料電池自動車(FCV)といったエコカーが次々と生まれています。エコカーは環境に優しいだけでなく、燃費が良い、災害時には電源となるなど様々なメリットがあり、自動車税の課税免除や導入補助制度などの優遇もあります。

日本一多い
愛知の
クルマ

日本全国には8,030万台もの自動車があり、愛知県には全国一位の510万台の自動車があります。また、愛知県は、東京都や大阪府と比べ、交通手段として自家用車への依存度が非常に高く、一般国道における混雑時の平均速度は全国平均より低い状況となっています。つまり、愛知県は、地球温暖化をもたらす二酸化炭素など、自動車による環境への負荷が大きい地域となっています。

PHV Plug-in Hybrid Vehicle **プラグインハイブリッド自動車**

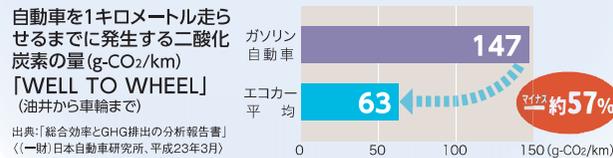
PHVは、ガソリンエンジン走行中に充電して、バッテリーによる電動走行ができるハイブリッド自動車を、家庭用電源で充電できるようにした自動車です。家庭用電源から充電できるために、ハイブリッド自動車に比べて燃費が良く、二酸化炭素などの排出も少なくなります。「WELL TO WHEEL」で比較すると、HV走行時でもガソリン自動車の約3分の2、EV走行時には約3分の1しか二酸化炭素を排出しません。充電がなくなってもガソリンで走行できるので、充電場所や時間を気にせず、遠距離でも安心して出かけることができます。

ECOLOGY

エコカー^{ゼロ}は走行中の二酸化炭素0

エコカーは、走行中の二酸化炭素などの排出ガスがなく、音も静か。ですから、都会や幹線道路沿いの生活環境への影響を大きく改善することができます。
電気やガソリンを作り出す過程で発生する全ての二酸化炭素を含めても、エコカーはガソリン自動車と比べて半分以下しか排出しません。エコカーの普及は地球温暖化を防ぐ上でも大変重要なのです。

※FCV・EV・PHV (EV走行時のみ)の場合



FCV Fuel Cell Vehicle **燃料電池自動車**

FCVは、水素と酸素を化学反応させて電気を作る「燃料電池」を搭載し、モーターで走行する自動車です。電気で作りますので、走行中は二酸化炭素などの排出は全くありません。現在は、天然ガスから水素を作っていますので、「WELL TO WHEEL」で比較すると、ガソリン自動車の約半分の二酸化炭素を排出します。再生可能エネルギーを使って水素を生産するための研究が進められており、「究極のエコカー」として期待されています。

ECONOMY

エコカーは燃費が良い

エネルギーを効率的に使うことができるエコカーは、当然、燃費も良くなります。また、EV・PHVなら、安価な夜間電力で充電して、昼間はバッテリーを電源にして家庭の電気をまかなうこともできます。自動車税の減免や補助金等の優遇も受けて、賢く使いましょう。エコカーには、使用するエネルギーの種類によって、航続距離や充電・充填に必要な時間や方法にも違いがあります。どのような場所で、どのように使うかも考えて選んでください。

	燃費 ^{※1}	補給時間	県内の補給場所 ^{※2}
FCV	6.6円/km	3分	水素ステーション 13基 (整備中を含む)
EV	1.42円/km	8時間 ^{※3}	充電インフラ 1,024基
PHV	2.24円/km (EV走行) 4.75円/km (HV走行)	(充電)90分 ^{※3} (ガソリン)3分	充電インフラ 1,024基 ガソリンスタンド 1,618ヶ所
ガソリン自動車	11.71円/km	3分	ガソリンスタンド 1,618ヶ所

※1 FCV:1,000円×4.3kg/650km EV:1,345円(中部電力定圧深夜電力B)×24kWh/228km
PHV (EV走行):1,345円(中部電力定圧深夜電力B)×4.4kWh/26.4km PHV (HV走行):150円/31.6km (HV燃料消費率)
ガソリン自動車:150円/12.8km (同クラスのガソリン乗用車の燃費平均値)
※2 水素ステーション:平成27年2月末現在 充電インフラ:平成26年12月末現在 ガソリンスタンド:平成26年3月末現在
※3 普通充電器を利用した場合

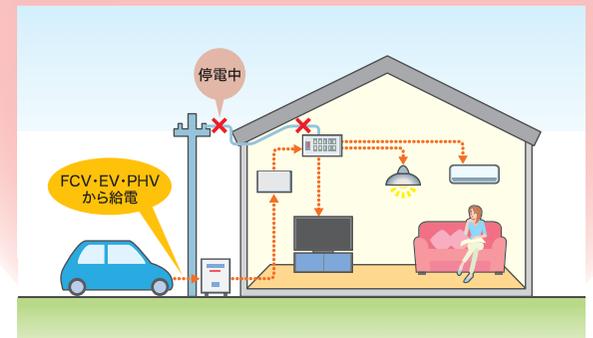
EV Electric Vehicle **電気自動車**

EVは、住宅や充電ステーションで充電して、電気だけで走行する自動車です。走行時には二酸化炭素などの排出は全くありません。また、発電所で効率よく発電した電力を使用することで、「WELL TO WHEEL」で比較して、ガソリン自動車の約3分の1程度の二酸化炭素しか排出しません。充電が切れると走れなくなるので、出かける前に充電場所や所要時間を計画しておくとうれしいでしょう。

EMERGENCY

エコカーがあると災害時も安心

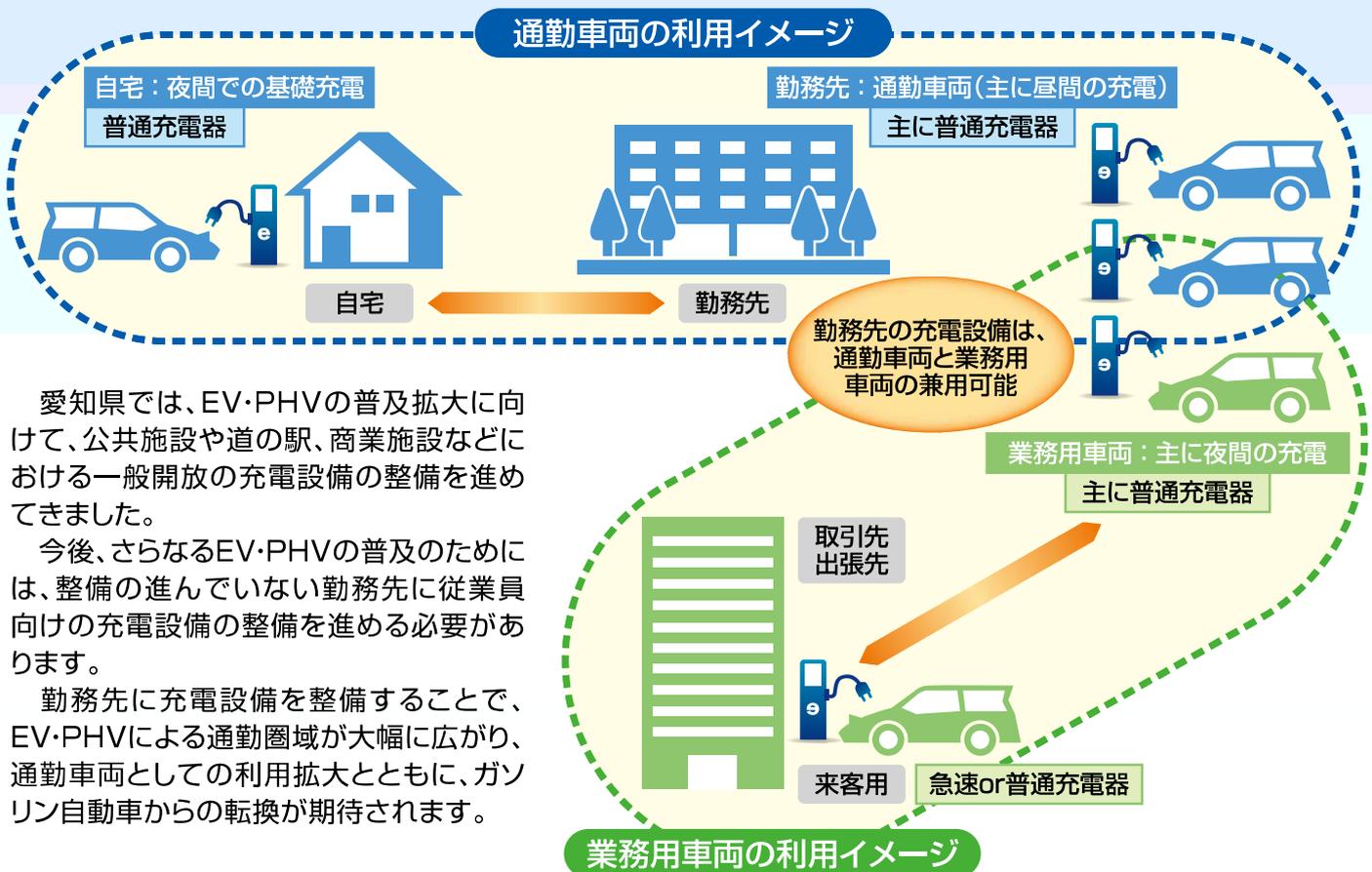
エコカーのうちFCV・EV・PHVは、車内の電気を数日間(車種により異なる)、外部へ給電することができます。このため、災害時に停電した場合、自立電源を確保することができます。



従業員のための 充電設備を設置しましょう！



従業員のために電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド自動車(PHV)用の充電設備を設置すると、こういったことが期待できるの？



愛知県では、EV・PHVの普及拡大に向けて、公共施設や道の駅、商業施設などにおける一般開放の充電設備の整備を進めてきました。

今後、さらなるEV・PHVの普及のためには、整備が進んでいない勤務先に従業員向けの充電設備の整備を進める必要があります。

勤務先に充電設備を整備することで、EV・PHVによる通勤圏域が大幅に広がり、通勤車両としての利用拡大とともに、ガソリン自動車からの転換が期待されます。

従業員向け充電設備を設置することが、どうしてEV・PHVの普及につながるの？

愛知県は、自動車保有台数全国1位。通勤時の自動車利用が多い地域。

通勤時の自動車利用による移動距離は、1日約30km
(所要時間:1時間8分 × 一般国道の混雑時の平均旅行速度:26km/h=29.5km/日)

EV・PHVは、道路渋滞等の使用環境・エアコン使用等の運転方法により、一部の車種では、航続可能距離が短くなる場合があります。

勤務先に充電設備を整備することで、EV・PHVによる通勤圏域が大幅に広がり、通勤車両としての利用拡大とともに、ガソリン自動車からの転換が期待されます。

従業員向け充電設備とは？

勤務先に従業員向けの充電設備を整備した先行事例



三菱自動車工業株式会社
(557基：愛知県岡崎市)



カルニックカンセイ株式会社
(8基：埼玉県さいたま市)



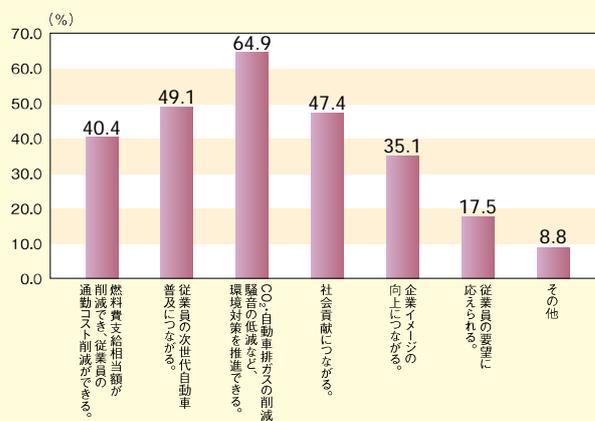
日東工業株式会社
(11基：愛知県長久手市)

導入メリット

EV・PHV・充電インフラに関わる企業・自治体等に対するアンケート調査を実施しました。

「従業員向け充電設備」の導入効果について確認すると、約65%の企業・団体が「環境対策を推進できる」と認識しており、非常に関心が高いことがわかります。

環境対策以外にも、「社会貢献」「次世代自動車の普及」「通勤コストの削減」「企業イメージの向上」といった効果にも関心が高いことがわかります。



導入のポイント

- 環境対策や経済対策というよりも社会貢献面を重視し、従業員向け充電設備の導入が進んでいます。
- 従業員向け充電設備を導入することで、従業員のEV・PHVへの車両転換が進むだけでなく、業務用車両のEV・PHVへの車両転換が進んでいます。
- 車載蓄電池やBEMSを活用することで、電力のピークシフトも可能となります。
- 通勤コストやエネルギーコストの削減だけでなく、「災害時や停電時等の非常時」においても、EV走行による移動や電力供給が可能となるなど、防災・減災面でもメリットがあります。

愛知県では「従業員向け充電設備」導入時のポイントをわかりやすく解説した

『従業員向け充電設備整備促進ガイドライン』を作成しました。



SNSで様々な情報をお届けしています！

Facebook／twitterの「あいちEV・PHVタウン」から愛知県の充電インフラ情報や県内の各種取組等を配信しています。

f Facebook t twitter

あいちEV・PHVタウン

お問合せ先

愛知県 環境部 大気環境課地球温暖化対策室

TEL 052-954-6217・6242 E-Mail ondanka@pref.aichi.lg.jp

電気で走るクルマのための 充給電設備を設置しましょう!



電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド自動車(PHV)を、停電時の「非常用電源」や住宅用の「蓄電池」として活用することができる充給電設備を設置すると、どういったことが期待できるの?

● PHVから信号機に電気を送る



提供:トヨタ自動車(株) <http://newsroom.toyota.co.jp/en/detail/9236779>

● EVから住宅に電気を送る



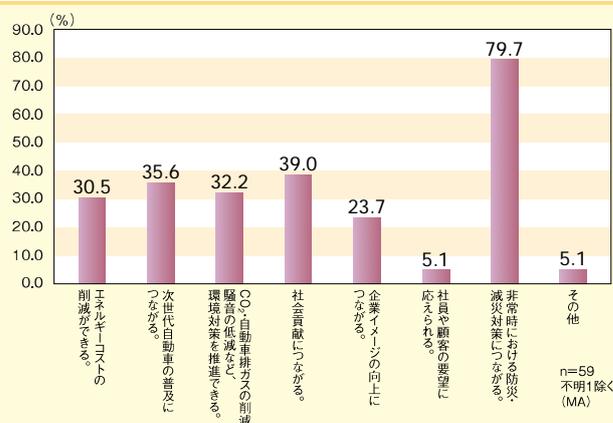
提供:日産自動車(株) <http://ev.nissan.co.jp/LEAF/>

導入メリット

EV・PHV、充電インフラに関わる企業・自治体等に対するアンケート調査を実施しました。

「充給電設備」の導入効果について確認すると、約8割の企業・団体が「非常時における防災・減災対策につながる」と認識しており、非常に関心が高いことがわかります。

防災・減災効果以外にも、「社会貢献」「次世代自動車の普及」「環境対策」「エネルギーコスト削減」といった効果にも関心が高いことがわかります。



充給電設備の使い方

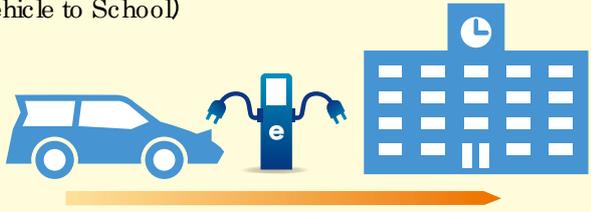
- EV・PHVから給電する方法は、車種によって異なります。車内のコンセント(AC100V)に直接電化製品を接続するタイプもあれば、災害時は充給電設備(外部給電器)を使って、より大容量の電力を供給することも可能です。
- 充給電設備(外部給電器)と車両との接続互換性があります。ただし、車種や充給電設備(外部給電器)により給電能力に違いがあり、出力や電力量に差が生じますので、ご注意ください。



提供:本田技研工業(株)

愛知県では「充給電設備」導入時のポイントをわかりやすく解説した
「EV・PHV用充給電設備整備促進ガイドライン」
 を作成しました。

充電設備でできること

タイプ	イメージ	特徴
V2H (Vehicle to Home)	住宅等に対する給電利用 	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅等に給電を行う取組。 ○蓄電池としての利用のほか、停電時のバックアップとして、非常時に利用する方法も想定されます。 ○夜間電力でクルマに充電した電気を、昼間のピーク時に給電する「ピークカット」による利用も効果的です。 ○住宅等だけでなく、「個人事業所」や「営業所」、「避難所」などでの利用も考えられます。
V2L (Vehicle to Load)	電化製品への給電利用 	<ul style="list-style-type: none"> ○電化製品に直接、給電を行う取組。 ○外出時、屋外で家電製品を利用する際の利用が考えられます。 ○停電時のバックアップとして、非常時に利用する方法も想定されます。 ○自治体では、公用車で家電製品を運び、避難所で給電するなど、災害支援活動での利用も考えられます。
V2S (Vehicle to School)	学校や公民館等への給電利用 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校や公民館等の避難所に給電を行う取組。 ○学校や公民館等は避難所に指定されているため、照明や情報機器、調理器具に給電する利用が想定されます。 ○自治体の公用車を利用するだけでなく、企業の社用車や従業員の通勤車両を災害対策本部におけるバックアップ用電源として、利用することも想定されます。
V2I (Vehicle to Infrastructure)	信号機や街路灯などへの給電利用 	<ul style="list-style-type: none"> ○信号機や街路灯などの社会インフラに給電する取組。 ○停電時の発電機として利用することが想定されます。 ○信号機や街路灯だけでなく、電光掲示板や行先表示板などへの利用も想定され、幅広い用途が期待されます。

上記の取組を総称して「V2X」と呼びます。
充電設備の用途には日常時・非常時の区分はありませんので、
充電設備の様々な可能性を探ってみてください。

※愛知県条例に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

☆耳より情報☆

愛知県内の一部の市町村では、電気自動車等充電設備の活用に対する補助制度があります。詳細はコチラ!
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/0000004471.html>



提供:三菱自動車工業㈱



SNSで様々な情報をお届けしています!

Facebook / twitterの「あいちEV・PHVタウン」から愛知県の充電インフラ情報や県内の各種取組等を配信しています。

f Facebook t twitter

あいちEV・PHVタウン

お問合せ先

愛知県 環境部 大気環境課地球温暖化対策室
TEL 052-954-6217・6242 E-Mail ondanka@pref.aichi.lg.jp